

令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査

自治会

調査結果報告書

令和5年3月

神戸市



## 【目次】

<b>(1) 調査概要</b> .....	<b>1</b>
① 調査の目的.....	1
② 調査対象.....	1
③ 調査方法等.....	1
④ 調査の対象と回収状況 .....	1
⑤ 調査結果の表示方法 .....	2
<b>(2) 団体の活動</b> .....	<b>3</b>
① 地域の世帯数（問1②） .....	3
② 加入世帯数（問1②） .....	3
③ 自治会の区域（問1③） .....	4
④ 法人格の有無（問1④） .....	5
⑤ 加入世帯数の変化（問2） .....	6
⑦ 加入促進のための取り組み（問3） .....	7
⑧ 自治会を退会するケースの有無（問4） .....	8
⑨ 退会を防ぐための取り組み（問5） .....	9
⑩ 実施している活動（問6） .....	10
⑪ 今後特に力を入れたい活動（問6） .....	12
⑫ 1世帯あたりの会費（問8） .....	13
⑬ 直近年度の決算の収入額（問9） .....	13
<b>(3) 利用施設と集まりの開催状況</b> .....	<b>14</b>
① 定期的に利用している施設（問7） .....	14
② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問7） .....	14
<b>(4) デジタル技術の活用</b> .....	<b>15</b>
① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問11） .....	15
② デジタル技術活用のために市に求める支援（問12） .....	16
③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問13） .....	16
<b>(5) 他団体との連携</b> .....	<b>17</b>
① 他団体との連携の状況（問15） .....	17
② 他団体と連携した取組事例（問16） .....	18
③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問17） .....	19
<b>(6) 活動を進めていくための課題</b> .....	<b>20</b>
① コロナ禍での活動で苦労していること（問10） .....	20
② 活動を進めていくための課題（人材面）（問14①） .....	21
③ 活動を進めていくための課題（運営面）（問14②） .....	21
④ 活動への住民の参加状況の課題（問14③） .....	22
⑤ 地域住民への情報伝達における課題（問14④） .....	22
<b>(7) 団体が活動している地域の状況等</b> .....	<b>23</b>

① 住民の居住年数の特徴（問19①） .....	23
② 住民同士の交流の状況（問19②） .....	23
③ 住民による地域活動の活発さの状況（問20） .....	24
④ 活発になっている理由（問21） .....	24
⑤ 以前に比べて活発でなくなった理由（問22） .....	25
⑥ 活動している地域の課題（問23） .....	26
⑦ 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問24） .....	27
<b>(8) 今後の活動に向けて .....</b>	<b>28</b>
① 活動の現状についての満足度（問25） .....	28
② 団体が担う役割の今後についての考え（問26） .....	28
④ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問27） .....	29
⑤ 加入促進にあたって市に期待する取り組み（問29） .....	29
⑥ 市に相談したいことや支援を希望すること（問30） .....	30
⑦ 法人格取得への関心（問31） .....	30
⑧ 自治会支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況（問32） .....	31
<b>(10) 代表の活動状況 .....</b>	<b>32</b>
① 代表（回答者）の状況（問40） .....	32
② 代表の選出方法（問33） .....	34
③ 代表の任期や定年の定め（問34） .....	34
④ 代表になってからの年数（問35） .....	35
⑤ 地域活動のための月間活動日数（問38） .....	35
⑥ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問36） .....	36
⑦ 地域活動に参加してよかったこと（問37） .....	36
⑧ 会長として特に感じる負担（問39） .....	37
<b>(11) 自由意見（問28） .....</b>	<b>38</b>
① 自治会加入の促進や退会防止での工夫 .....	38
② 運営での工夫 .....	39
③ コロナ禍において新たに取組んだこと .....	40

（資料）調査票

## (1) 調査概要

### ① 調査の目的

神戸市では、おおむね3年ごとに、市内で活動されている地域組織のみなさまの活動実態及び課題などを把握するためアンケート調査を実施している。

前回の調査（令和元年度）以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっている市民の取り組みや感じていることを把握し、今後の施策に活用する。

### ② 調査対象

下記の団体を対象とする。

	概要	備考
自治会	様々な地域課題を住民自ら解決するために結成された住民自治組織で、地域の実情に応じ、クリーンステーションの清掃、防火・防犯活動、高齢者や障がい者への福祉活動、親睦行事の催しなどの活動を行っている。	神戸市に登録している自治会を対象とした。マンション管理組合は対象外とした。

### ③ 調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、郵送で回収した。
調査期間	令和4年10月11日（火）～11月11日（金）

### ④ 調査の対象と回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
全市	2,230	9	2,221	1,330	59.9%
東灘区	159	1	158	100	63.3%
灘区	144		144	89	61.8%
中央区	107		107	47	43.9%
兵庫区	209		209	128	61.2%
北区	332	3	329	211	64.1%
長田区	275		275	154	56.0%
須磨区	248	1	247	140	56.7%
垂水区	404	3	401	211	52.6%
西区	352	1	351	242	68.9%
不明				8	

## ⑤調査結果の表示方法

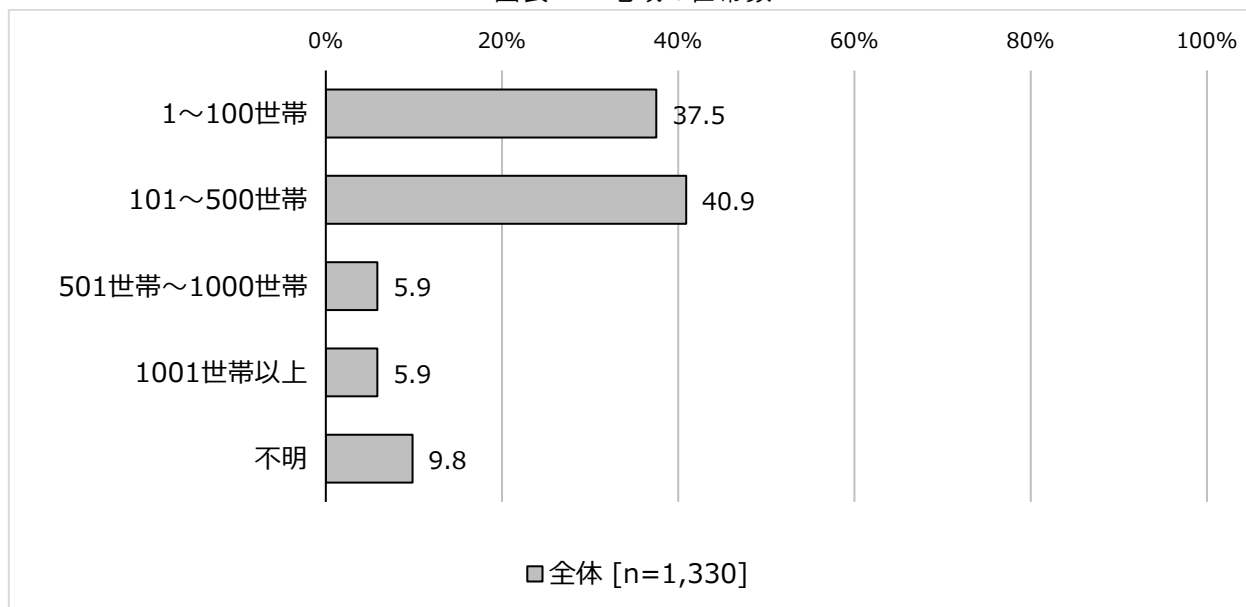
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの百分率（%）で表しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・各設問のサンプルサイズは、“n=●”として記載しています。
- ・〔複数回答〕とある設問は、2つ以上の選択肢を回答することが可能な設問です。このため、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

## (2) 団体の活動

### ①地域の世帯数（問1②）

地域の世帯数は、「101世帯～500世帯」が40.9%、「1～100世帯」が37.5%となっている。最大は9,000世帯となっている。

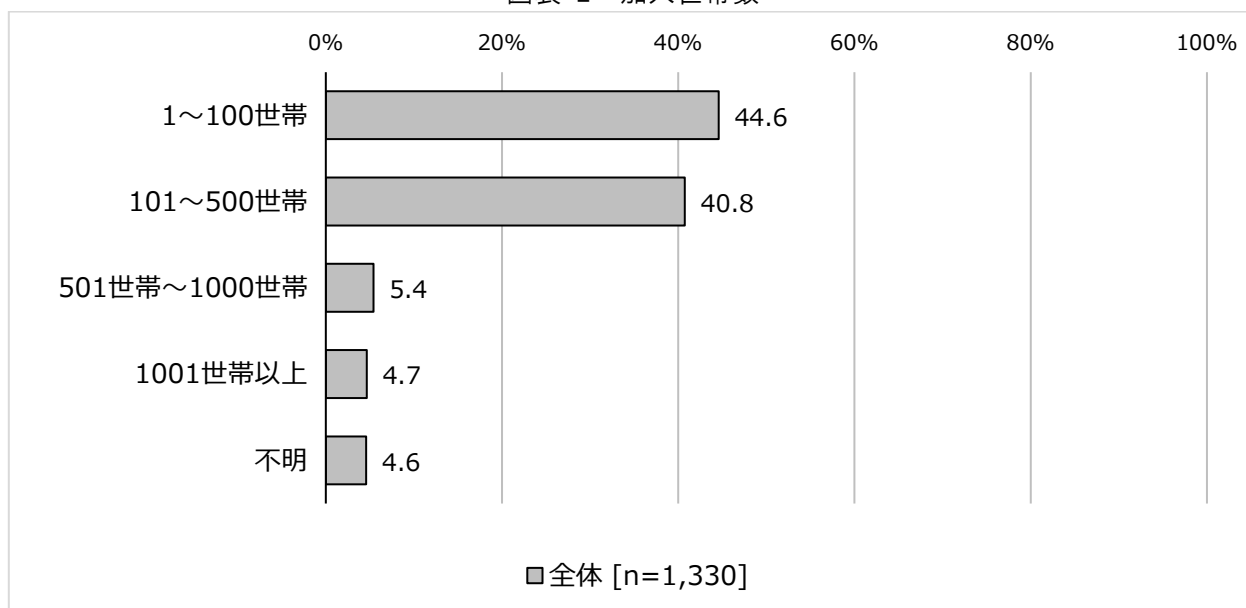
図表 1 地域の世帯数



### ②加入世帯数（問1②）

加入世帯数は、「1～100世帯」が44.6%「101世帯～500世帯」が40.8%となっている。最大は7,400世帯となっている。

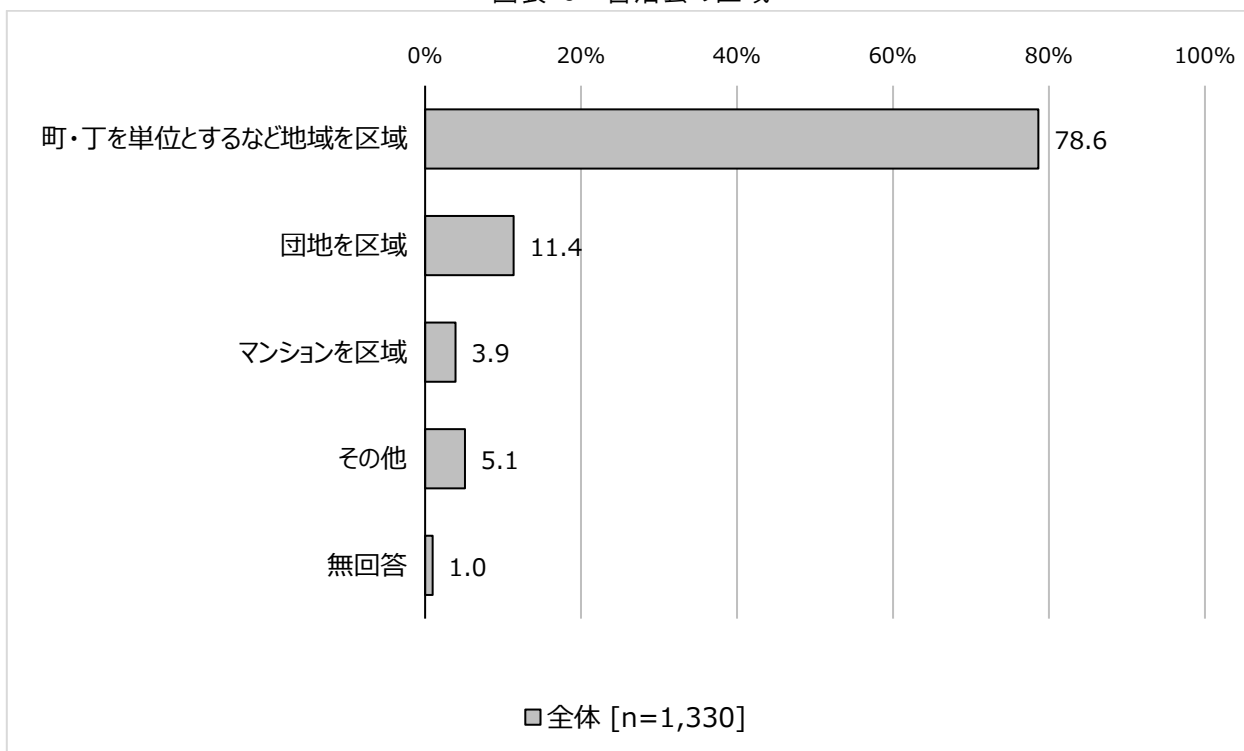
図表 2 加入世帯数



### ③自治会の区域（問1③）

自治会の区域は、「町・丁を単位とするなど地域を区域」が78.6%と最も多く、次いで「団地を区域」が11.4%、「その他」が5.1%などとなっている。

図表 3 自治会の区域

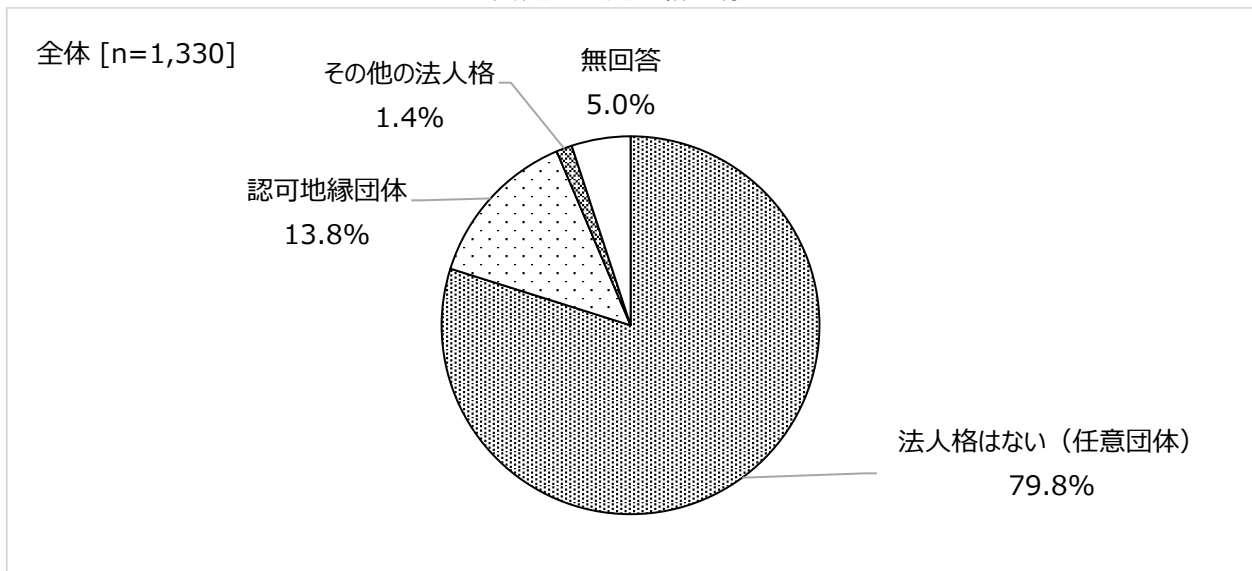




#### ④法人格の有無（問1④）

法人格の有無は、「法人格はない（任意団体）」が79.8%、「認可地縁団体」が13.8%、「その他の法人格」が1.4%となっている。

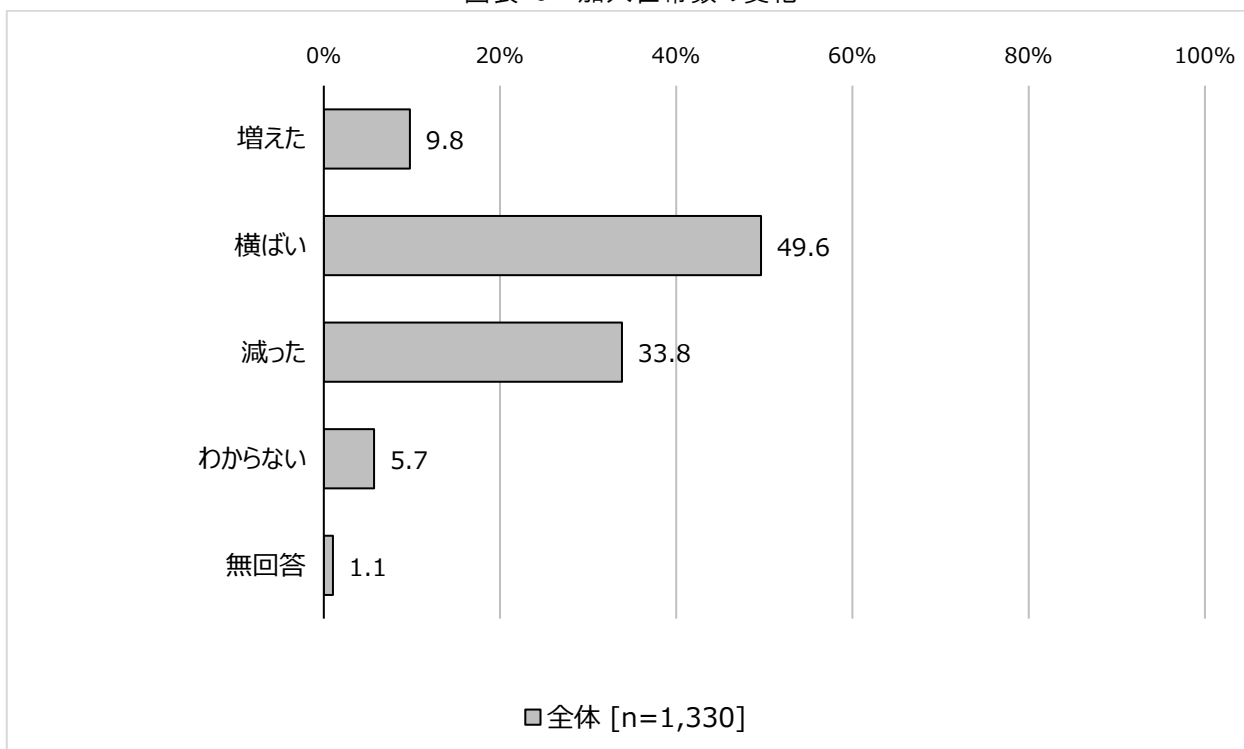
図表 4 法人格の有無



### ⑤ 加入世帯数の変化（問2）

加入世帯数の変化は、「横ばい」が49.6%と最も多く、次いで「減った」が33.8%、「増えた」が9.8%などとなっている。

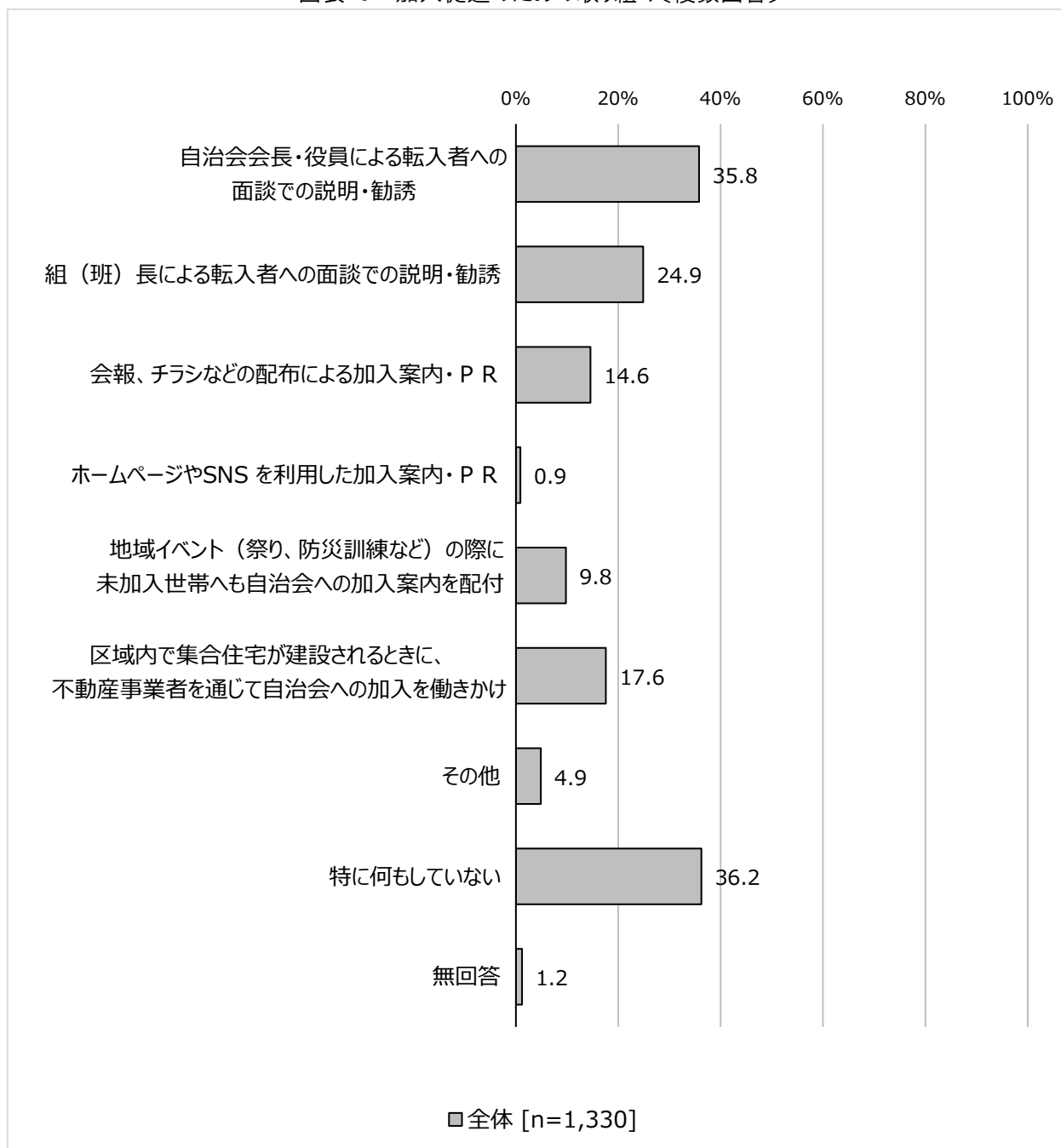
図表 5 加入世帯数の変化



### ⑦加入促進のための取り組み（問3）

加入促進のための取り組みは、「特に何もしていない」が36.2%と最も多く、次いで「自治会会長・役員による転入者への面談での説明・勧誘」が35.8%、「組（班）長による転入者への面談での説明・勧誘」が24.9%などとなっている。

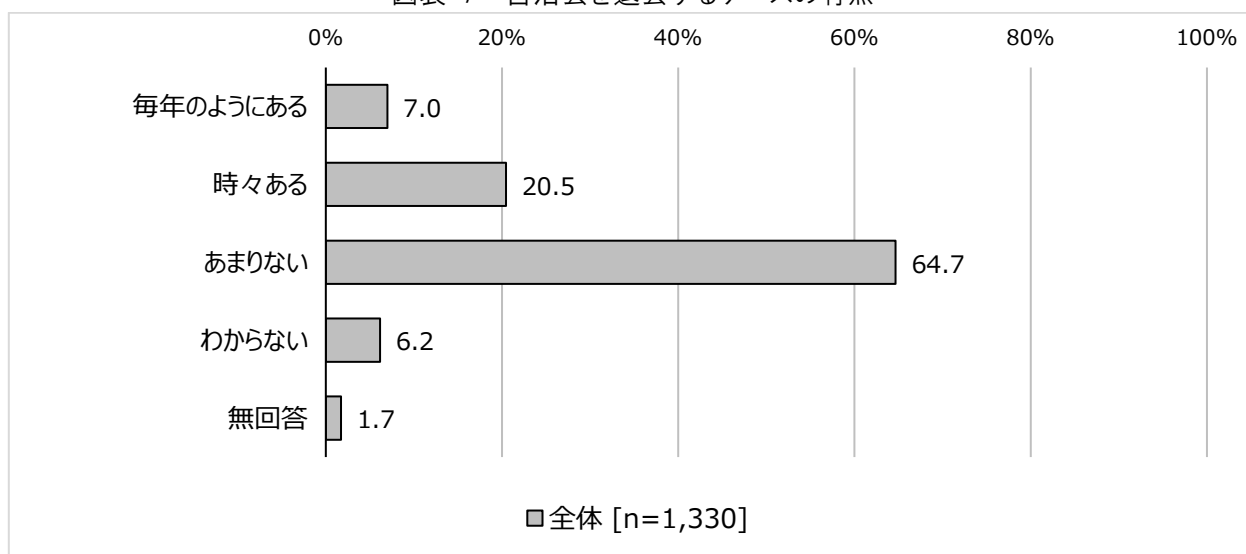
図表 6 加入促進のための取り組み〔複数回答〕



### ⑧自治会を退会するケースの有無（問4）

自治会を退会するケースの有無は、「あまりない」が64.7%と最も多く、次いで「時々ある」が20.5%、「毎年のようにある」が7.0%などとなっている。

図表 7 自治会を退会するケースの有無



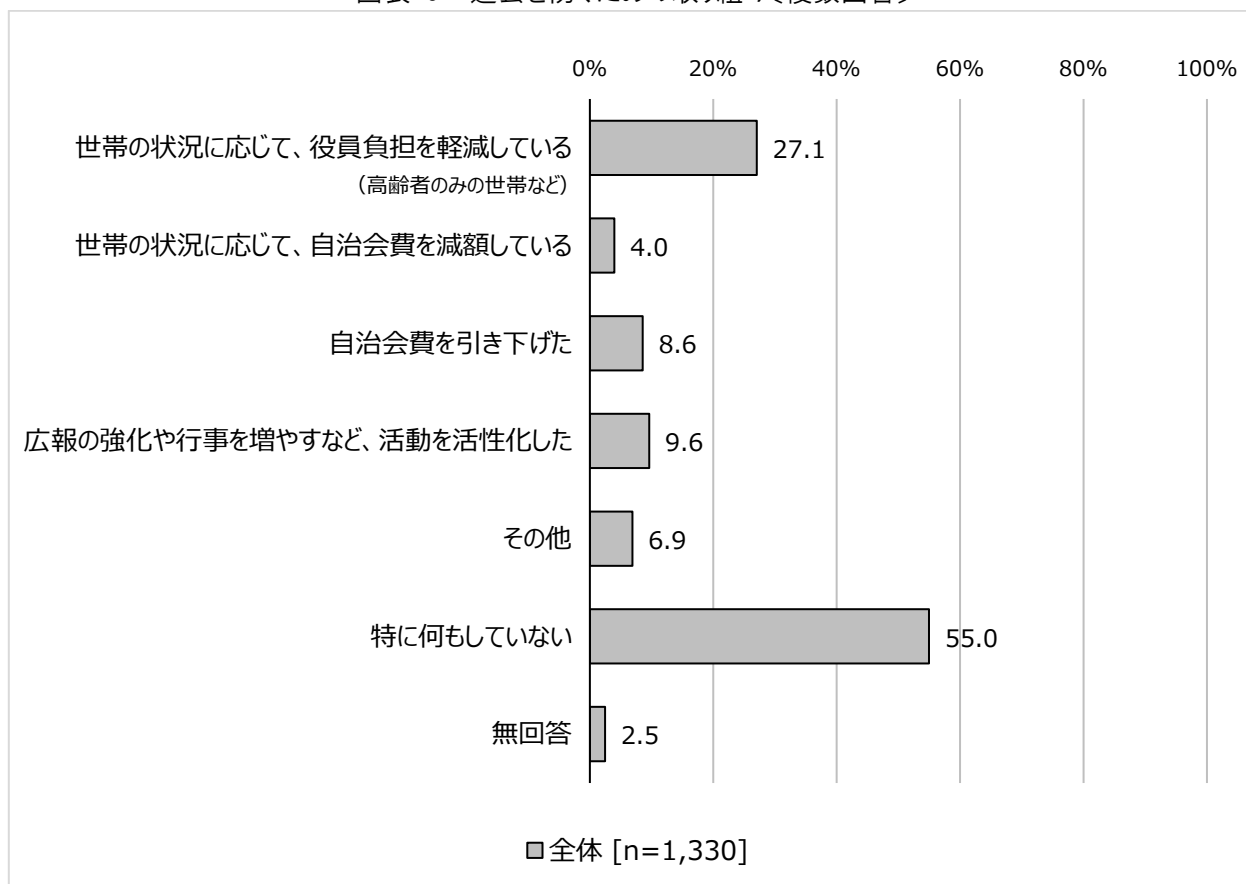
図表 8 自治会を退会するケース

自治会を退会するケース（地域外への転居や死亡を除く）	
加入メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入するメリットを感じない。</li> <li>・コロナ禍で、多くの人が集まるイベントが難しくなっている。</li> <li>・自治会活動に参加しない。</li> <li>・日中の不在が多い。</li> <li>・地域行事等に関心がない。</li> </ul>
役員負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢である。</li> <li>・役員を担いたくない。</li> <li>・輪番制で役があたる。</li> <li>・役員の業務が負担である。</li> </ul>
会費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会費を支払いたくない。</li> <li>・会費を払えない。</li> <li>・非会員との差がないので会費を払いたくない。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣と交流したくない。</li> <li>・近隣とのトラブルがある。</li> <li>・入院する。</li> <li>・施設に入所する。</li> </ul>

### ⑨ 退会を防ぐための取り組み（問5）

退会を防ぐための取り組みは、「特に何もしていない」が55.0%と最も多く、次いで「世帯の状況に応じて、役員負担を軽減している（高齢者のみの世帯など）」が27.1%、「広報の強化や行事を増やすなど、活動を活性化した」が9.6%などとなっている。

図表 9 退会を防ぐための取り組み〔複数回答〕

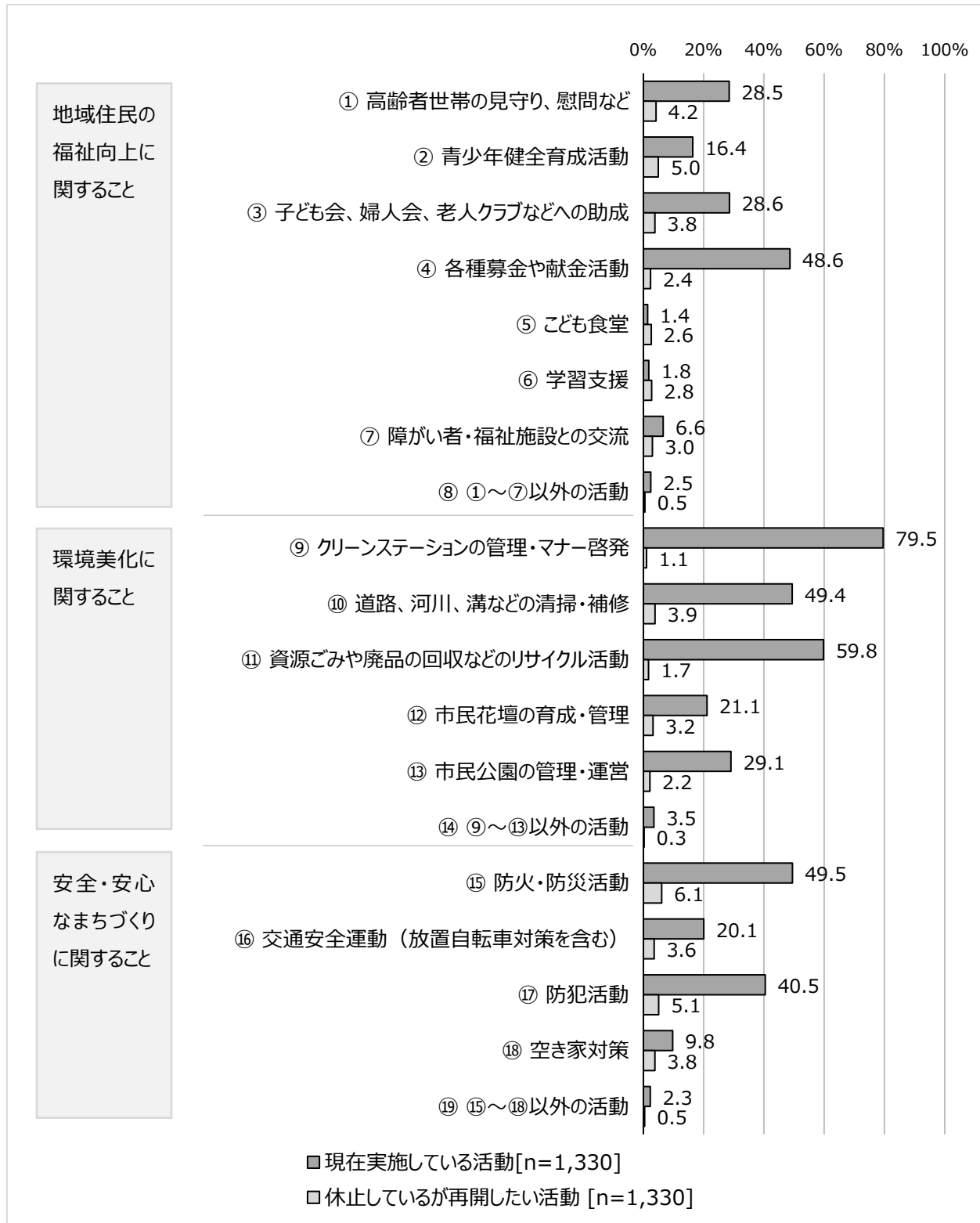


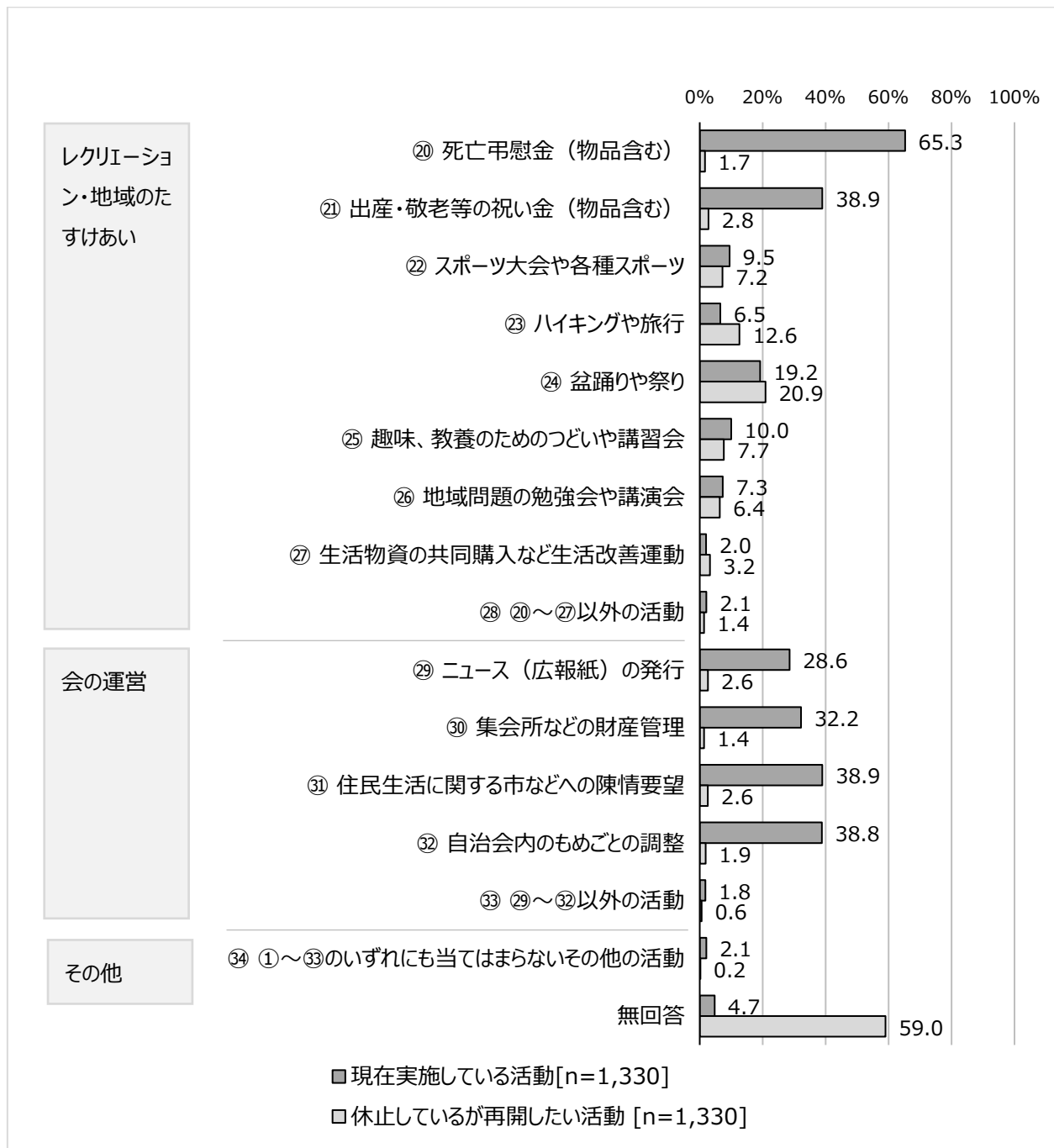
## ⑩実施している活動（問6）

現在実施している活動は、「⑨ クリーンステーションの管理・マナー啓発」が79.5%と最も多く、次いで「⑩ 死亡弔慰金（物品含む）」が65.3%、「⑪ 資源ごみや廃品の回収などのリサイクル活動」が59.8%などとなっている。

休止しているが再開したい活動は、「⑭ 盆踊りや祭り」が20.9%と最も多く、次いで「⑮ ハイキングや旅行」が12.6%、「⑯ 趣味、教養のためのつどいや講習会」が7.7%などとなっている。

図表 10 現在実施している活動と再開したい活動〔複数回答〕

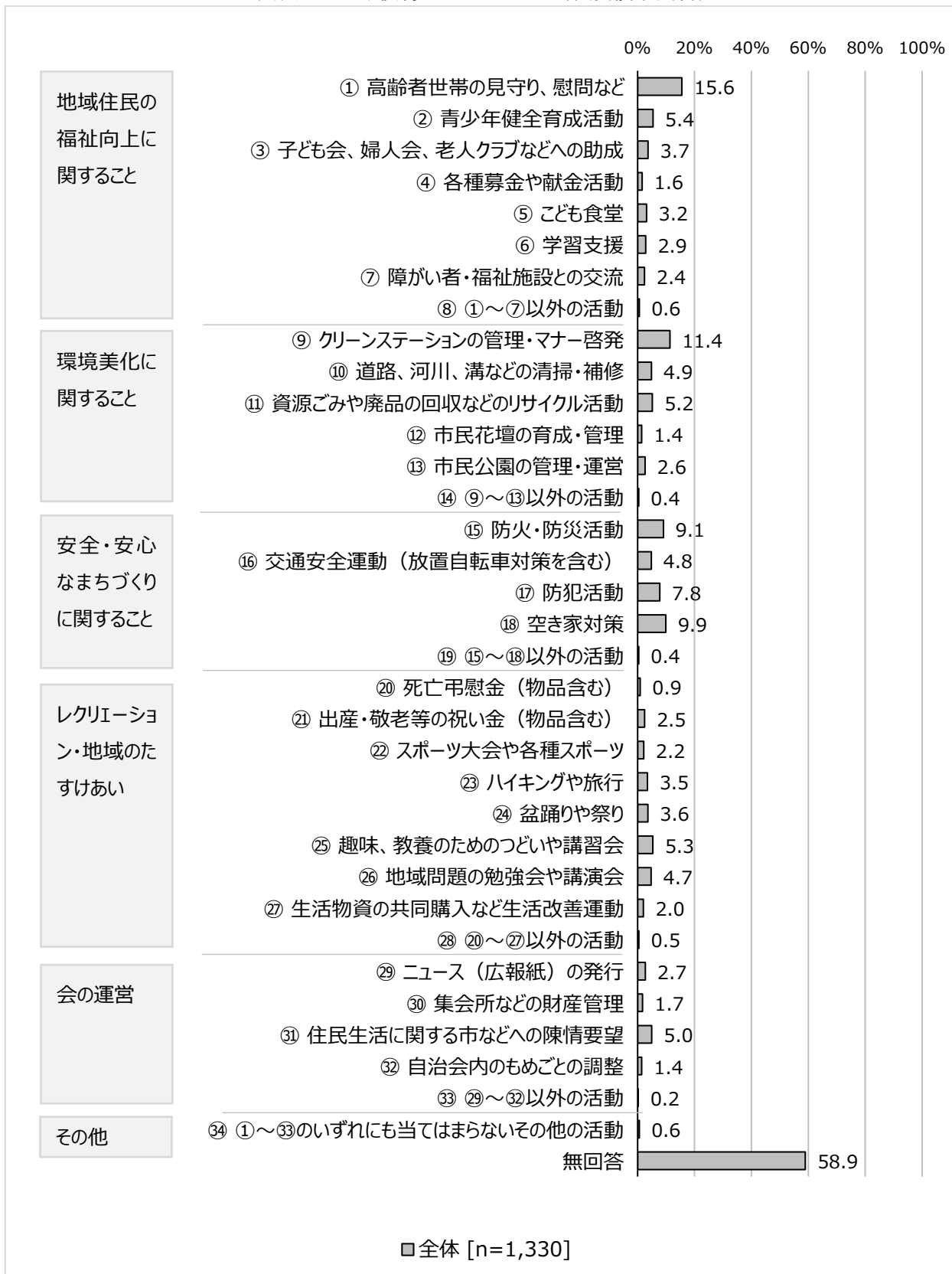




### ⑪今後特に力を入れたい活動（問6）

今後特に力を入れたい活動は、「① 高齢者世帯の見守り、慰問など」が15.6%と最も多く、次いで「⑨ クリーンステーションの管理・マナー啓発」が11.4%、「⑱ 空き家対策」が9.9%などとなっている。

図表 11 今後特に力を入れたい活動〔複数回答〕

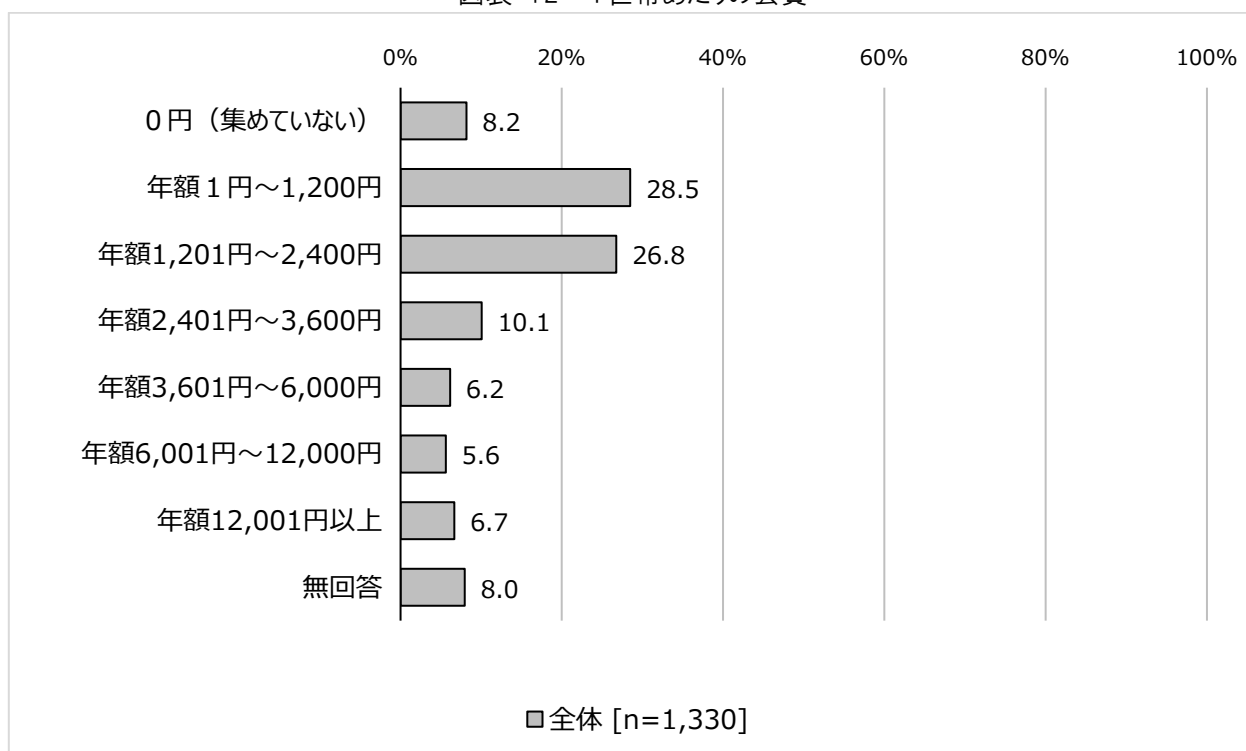




### ⑫ 1世帯あたりの会費（問8）

1世帯あたりの会費は、「年額1円～1,200円」が28.5%と最も多く、次いで「年額1,201円～2,400円」が26.8%、「年額2,401円～3,600円」が10.1%などとなっている。

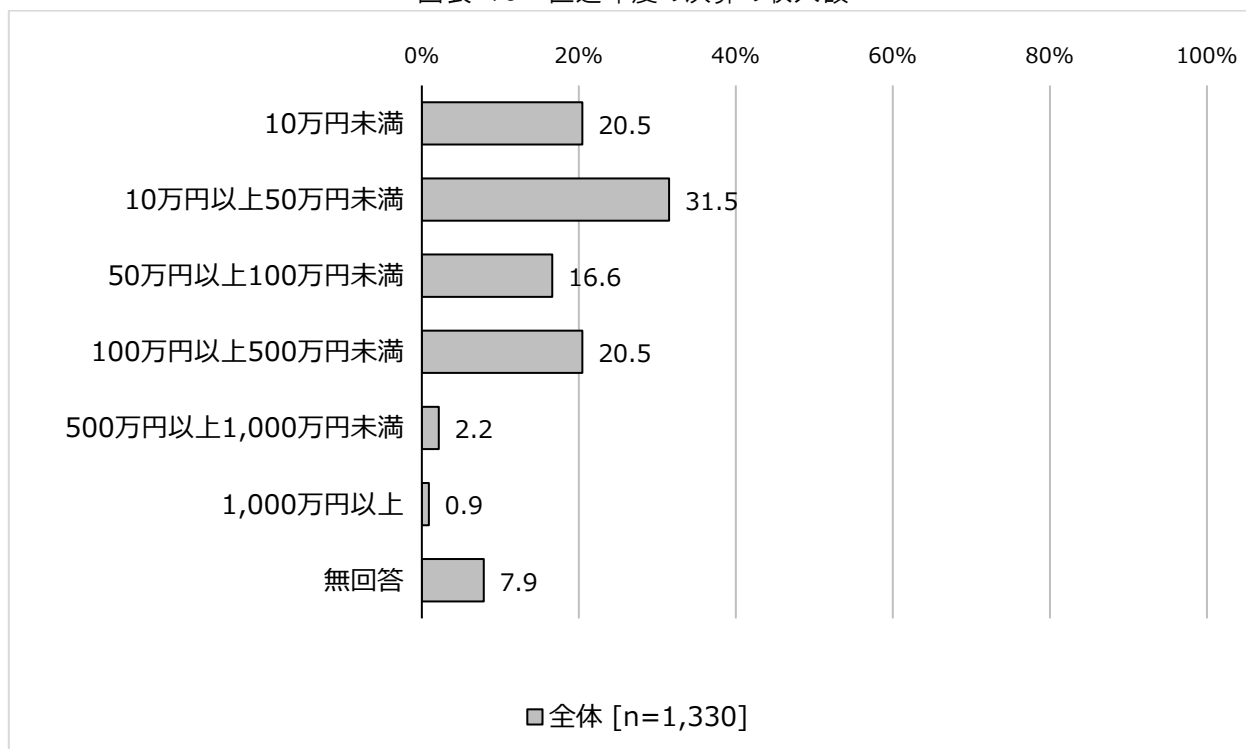
図表 12 1世帯あたりの会費



### ⑬ 直近年度の決算の収入額（問9）

直近年度の決算の収入額は、「10万円以上50万円未満」が31.5%と最も多く、次いで「10万円未満」と「100万円以上500万円未満」が20.5%などとなっている。

図表 13 直近年度の決算の収入額



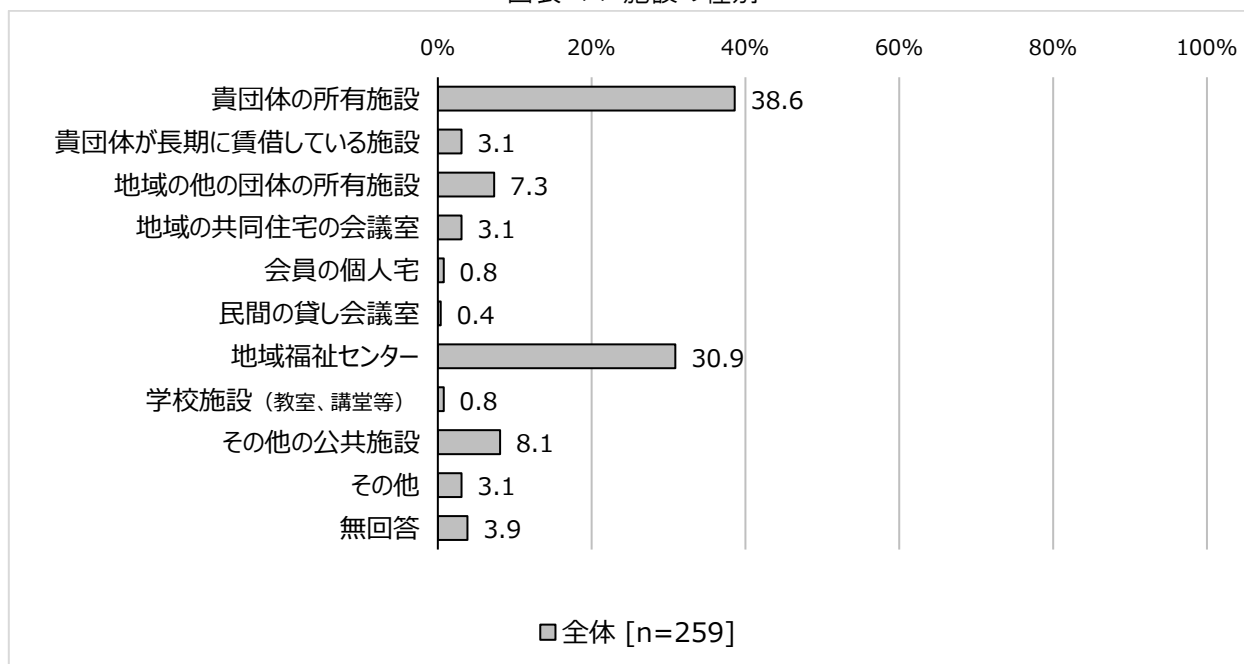
### (3) 利用施設と集まりの開催状況

#### ① 定期的に利用している施設（問7）

自治会が定期的に利用している施設として259施設の回答があった。

施設の種別は、「貴自治体の所有施設」が38.6%と最も多く、次いで「地域福祉センター」が30.9%となっている。

図表 14 施設の種別



#### ② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問7）

定期的に開催している集まりとして494件の回答があった。

主な利用対象者は、「どなたでも」が233件と最も多く、月1回の開催の集まりが多くなっている。次いで、「高齢者」を対象とする集まりが158件で、月1回の開催の集まりが多くなっている。

図表 15 集まりの状況(主な利用対象者と開催頻度)

主な利用対象	合計	開催頻度 (月当たりの開催日数)						
		月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回以上	無回答
合計 [n=494]	494	13	195	85	11	74	49	67
	100.0	2.6	39.5	17.2	2.2	15.0	9.9	13.6
どなたでも [n=233]	233	3	92	47	7	31	21	32
	100.0	1.3	39.5	20.2	3.0	13.3	9.0	13.7
子ども [n=30]	30	1	4	1	1	5	14	4
	100.0	3.3	13.3	3.3	3.3	16.7	46.7	13.3
親子 [n=23]	23	1	13	3	0	2	1	3
	100.0	4.3	56.5	13.0	0.0	8.7	4.3	13.0
高齢者 [n=158]	158	4	69	26	2	26	10	21
	100.0	2.5	43.7	16.5	1.3	16.5	6.3	13.3
その他 [n=22]	22	2	7	4	1	5	1	2
	100.0	9.1	31.8	18.2	4.5	22.7	4.5	9.1
無回答 [n=28]	28	2	10	4	0	5	2	5
	100.0	7.1	35.7	14.3	0.0	17.9	7.1	17.9

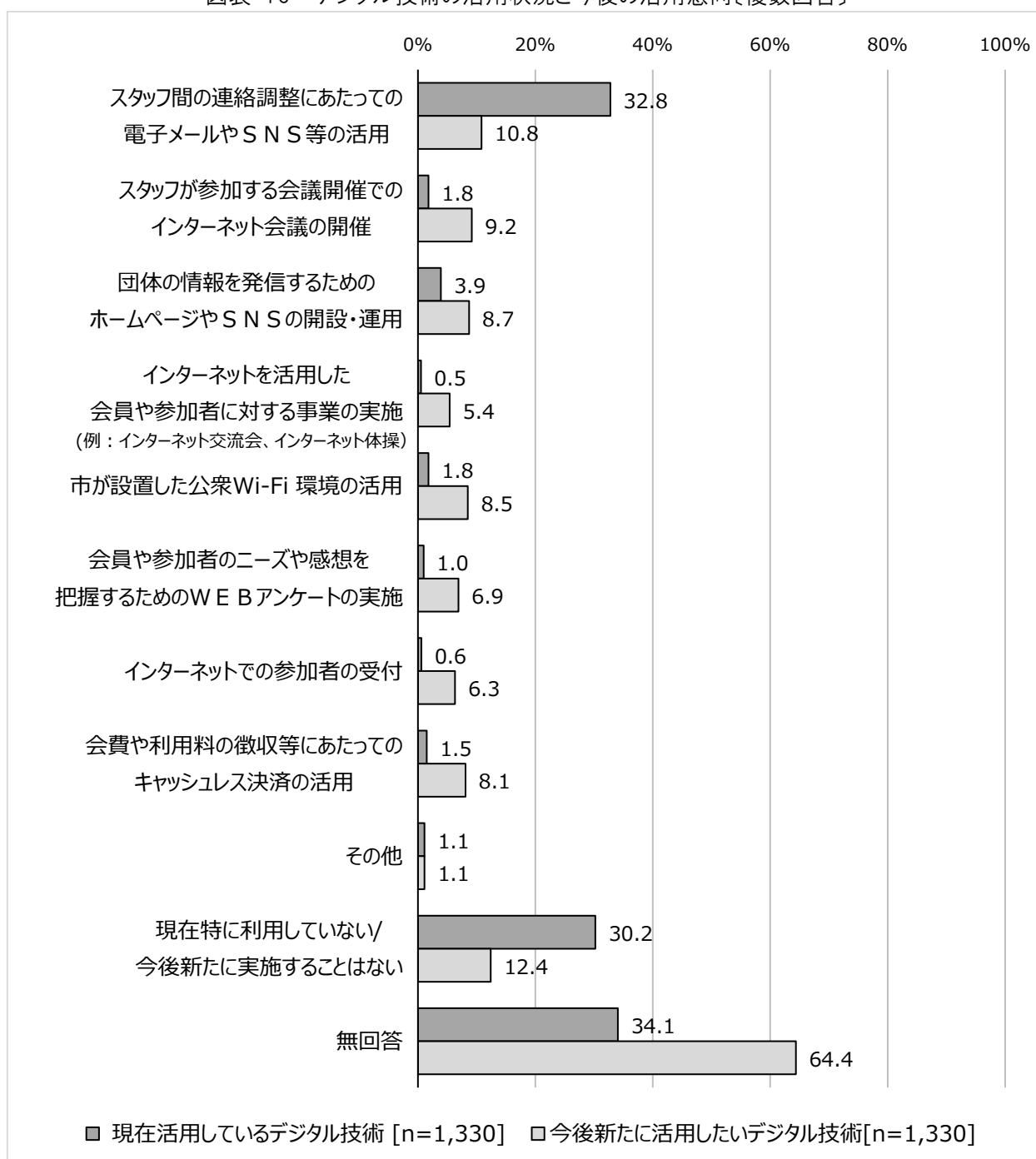
## (4) デジタル技術の活用

### ① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問 11）

現在活用しているデジタル技術は、「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」が32.8%と最も多く、次いで「現在特に利用していない」が30.2%、「団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用」が3.9%などとなっている。

今後新たに活用したいデジタル技術は、「今後新たに実施することはない」が12.4%と最も多く、次いで「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」が10.8%、「スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議の開催」が9.2%などとなっている。

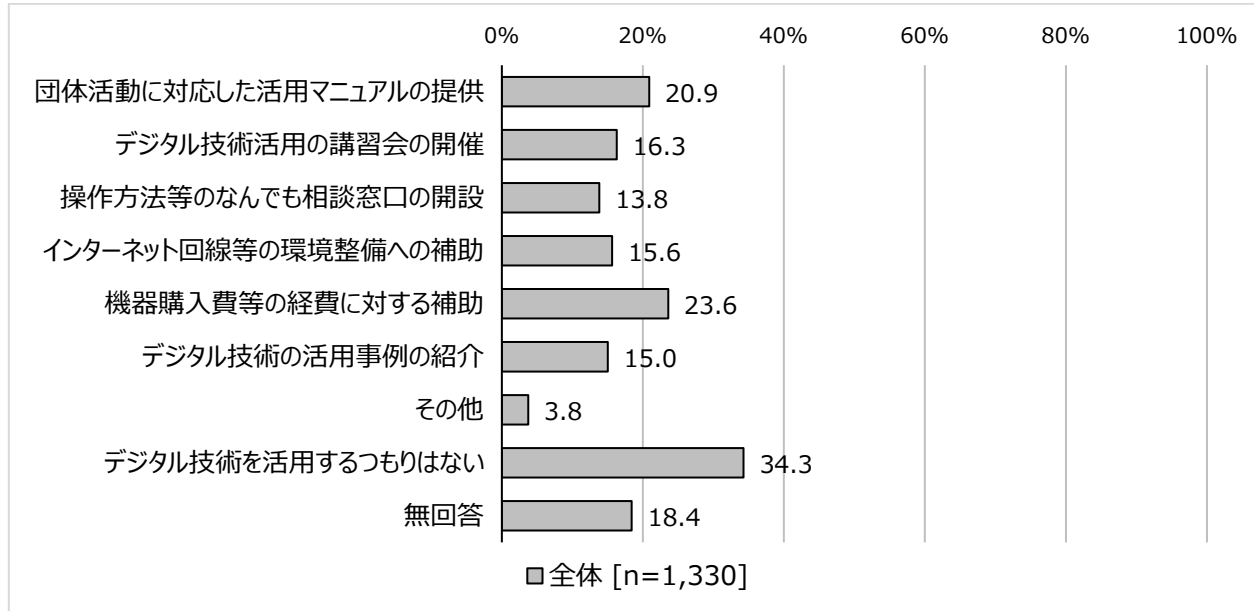
図表 16 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



## ② デジタル技術活用のために市に求める支援（問 12）

デジタル技術活用のために市に求める支援は、「デジタル技術を活用するつもりはない」が34.3%と最も多く、次いで「機器購入費等の経費に対する補助」が23.6%「団体活動に対応した活用マニュアルの提供」が20.9%などとなっている。

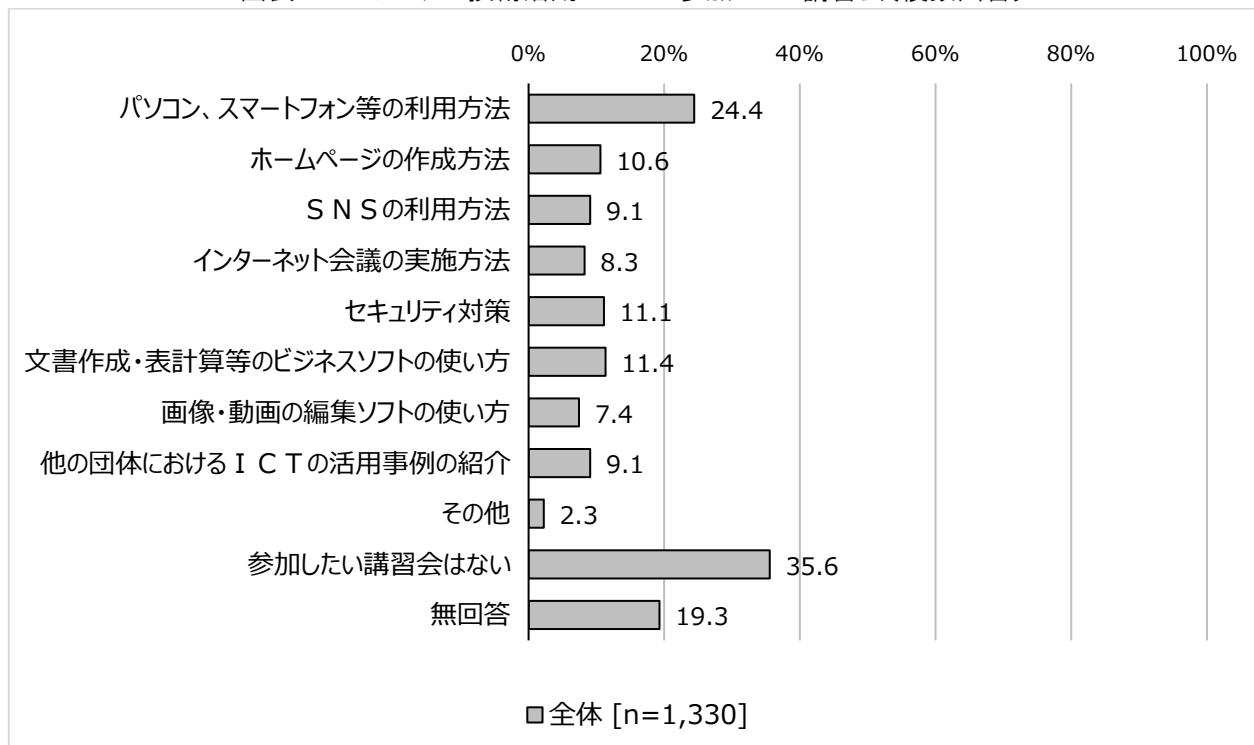
図表 17 デジタル技術活用のために市に求める支援〔複数回答〕



## ③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 13）

デジタル技術活用のために参加したい講習会は、「参加したい講習会はない」が35.6%と最も多く、次いで「パソコン、スマートフォン等の利用方法」が24.4%、「文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方」が11.4%などとなっている。

図表 18 デジタル技術活用のために参加したい講習会〔複数回答〕



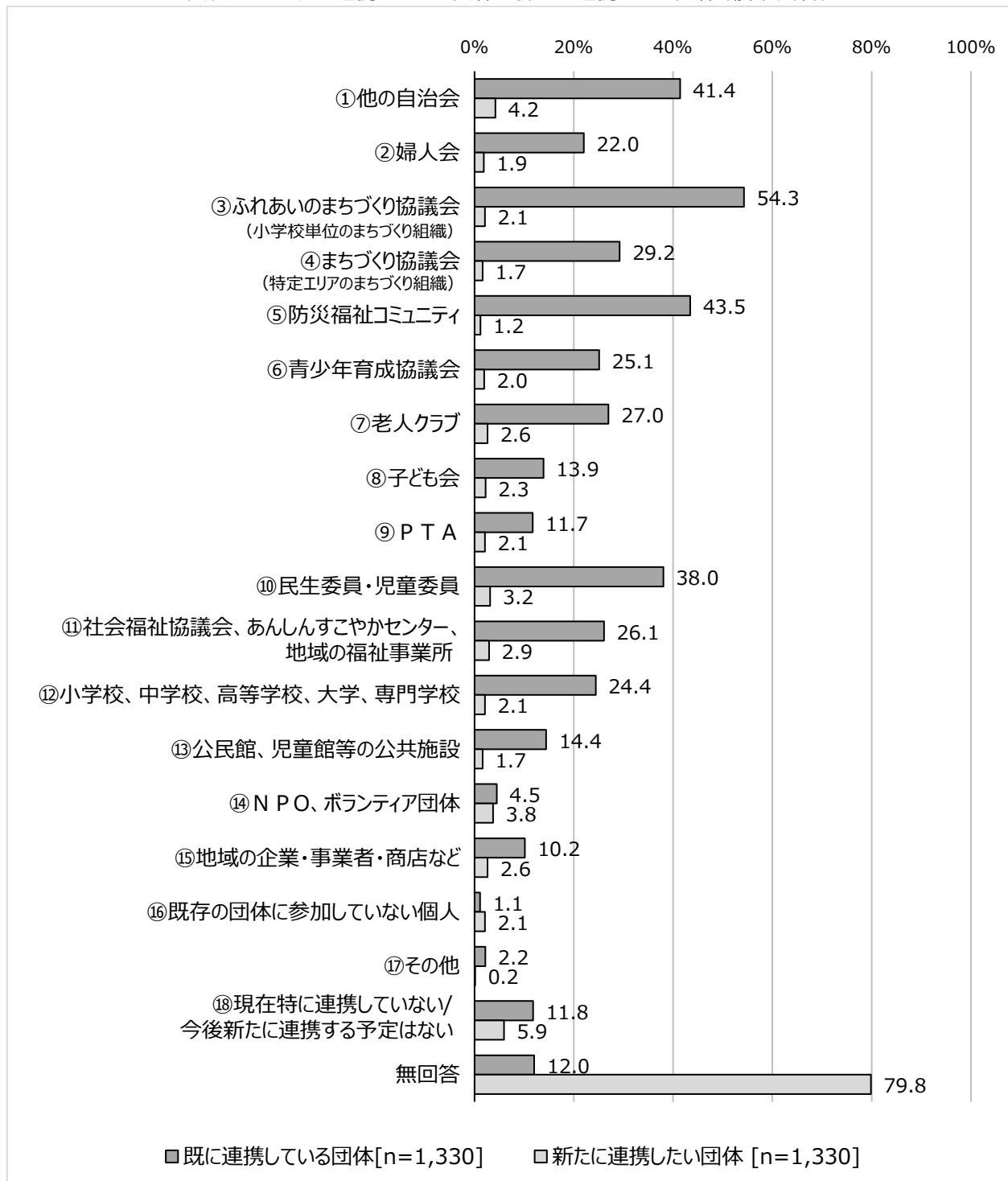
## (5) 他団体との連携

### ①他団体との連携の状況（問 15）

既に連携している団体は、「③ふれあいまちづくり協議会（小学生単位のまちづくり組織）」が54.3%と最も多く、次いで「⑤防災福祉コミュニティ」が43.5%、「①他の自治会」が41.4%などとなっている。

新たに連携したい団体は、「⑱今後新たに連携する予定はない」が5.9%と最も多く、次いで「①他の自治会」が4.2%、「⑭NPO、ボランティア団体」が3.8%などとなっている。

図表 19 既に連携している団体と新たに連携したい団体〔複数回答〕



## ②他団体と連携した取組事例（問16）

他団体と連携した取組として、次のような取組事例があげられた。

図表 20 他団体と連携した取組事例

連携先	連携内容（例）
他の自治会	花見、七夕、夏まつり、運動会、文化祭、クリスマス、もちつき大会、とんどまつり、地域のまつり、広域共通イベントの企画・実施、ふれまち給食、ラジオ体操、グラウンドゴルフ、旅行、地域猫問題、公園管理、一斉清掃、河川清掃、池の管理、鳥獣被害対策、資源回収、クリーンステーションの共同運営、不法投棄対策、コミュニティバスの運行、バス路線の新設促進、放置自転車対策、下校時の見守り、防犯パトロール、防犯カメラの設置、年末夜警、防災訓練、防災リーダー研修、災害時用井戸掘削の費用支出、開発に対する意見集約、道路工事の説明会、町内の要望事項の検討、行事の周知、自治会館の運営管理
婦人会	祭り、盆踊り、ふれあい喫茶、健康ウォーク、子供の見守り、地域清掃、公園清掃、自治会館内と周辺の清掃、福祉センターの清掃、資源ごみの回収、募金
ふれまち協	夏祭り、盆踊り、敬老会、文化祭、もちつき大会、ラジオ体操、バーベキュー大会、グラウンドゴルフ大会、子供みこしの助成、健康講演会、福祉講座、ふれあい喫茶、防犯パトロール、防災訓練、防災空地の設置、市民防災リーダー研修、公園管理、地域福祉センターの清掃、まち歩き、まちづくり計画の策定
まちづくり協議会	盆踊り、敬老会、演芸会、地域清掃、商店会のイベントへの参加、防災訓練、まちづくり構想づくり、新築マンション等の着工前協議
防災福祉コミュニティ	防犯パトロール、防災訓練、市民防災リーダー研修、ハザードマップの説明会
青少年育成協議会	盆踊り、夜店、ラジオ体操、こどもキャンプ、ゲームフェスティバル、コンサート、子ども学習会、小学校を中心とした催し物の実施、パトロール、防災訓練、交通指導、トライやるウィーク
老人クラブ	地蔵盆、グラウンドゴルフ、バス旅行、誕生会、輪投げ、カフェ、子どもの見守り、資源回収、公園清掃、災害時要援護者の支援体制づくり
子ども会	運動会、ハロウィン、もちつき大会、ラジオ体操、生物観察会（身近な生物とのふれあい）、河川清掃
P T A	夏祭り、ラジオ体操、登下校見守り、資源回収
民生・児童委員	地域の高齢者の近況報告、独居高齢者への訪問
社協、福祉施設等	ふれあい喫茶、認知症に対する取り組み、認知症防止講習会、徘徊する高齢者への対応
学校	ふれあいランチ、昔の暮らし体験学習への参画、生徒達と農業体験（田植、稲刈）、子供たちの登下校の見守り、清掃活動、地域パトロール、防災訓練通学路の安全点検、着任した校長に町内や公園などを案内
公民館、児童館等	ハロウィン、文化祭、児童の保育
N P O 等	夏まつり、冬まつり、健康体操、朝活こども体操、小学生の通学の見守り活動、地域清掃活動、耕作放棄地の再生、防災教室
事業者・商店	グラウンドゴルフ大会、河川の草刈り、地域清掃活動、消防訓練、協賛金

③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問 17）

他団体と今後連携して実現したいこと（アイデア）として次のような回答があげられた。

図表 21 他団体と連携して実現したいこと(アイデア)

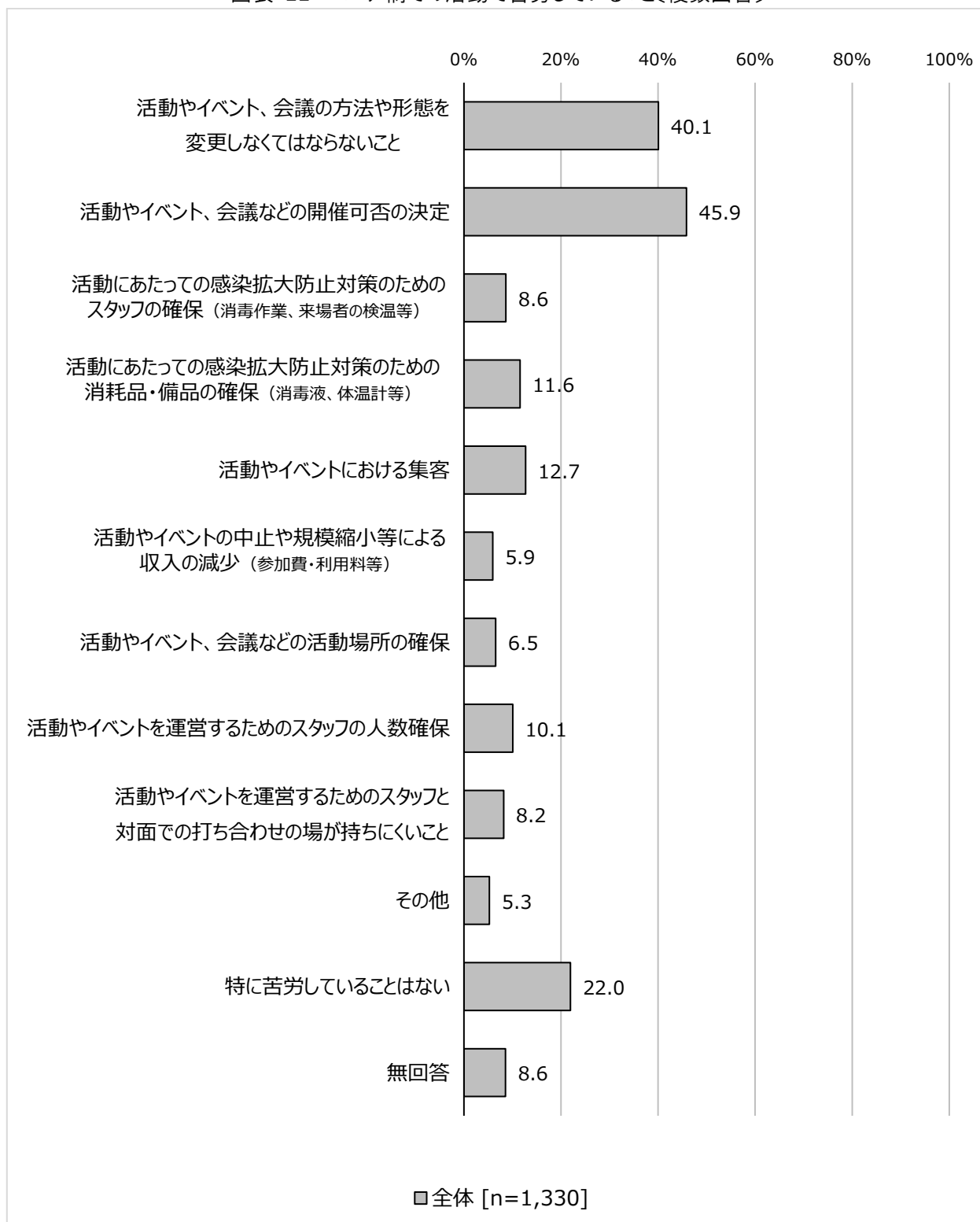
連携したい相手	連携して実現したいこと（アイデア）（例）
他の自治会	祭りの共同運営、もちつきの共同作業、子どもが参加できる行事、地区内主要道路の整備(快適な歩行の向上)、コミュニティーゾーンの具現化、情報交換（活動内容等）
婦人会	夏まつり、小旅行、資源回収
ふれまち協	盆踊り、運動会、気軽に集まり世間話ができるお茶会、ふれあい喫茶、1人暮らしの方の見守り、グラウンドゴルフ、ソフトボール大会、公共施設の見学、パソコン講習会、自転車マナーの向上、防災訓練、日帰り研修
防災福祉コミュニティ	防災訓練、地域のことについての意見交換
青少年育成協議会	イベントのお手伝い
老人クラブ	独居高齢者を見守り、ICT講習会
子ども会	子どもといっしょにごみ拾い、防災・防犯に関する取組
P T A	自治会イベントへの参加要請
民生・児童委員	高齢者を見守る「向こう3軒両隣活動」
社協、福祉施設等	高齢者を見守る「向こう3軒両隣活動」、見守り活動の充実、認知症、ひきこもりの予防、農福連携事業、地域介護のビジョン作成
N P O 等	イベントの開催協力、イベントの参加者募集でのオンライン活用、防災訓練の指導、野菜づくり、外国人居住者・会員とのコミュニケーションプラン、外国人との交流・相互理解、自主防災学習会、まち歩き学習会
事業者・商店街	盆踊り、地蔵盆、ものづくり体験、さつまいもの栽培
団体に参加していない個人	インターネットでの事務、イベントの画像記録

## (6) 活動を進めていくための課題

### ① コロナ禍での活動で苦労していること（問 10）

コロナ禍での活動で苦労していることは、「活動やイベント、会議などの開催可否の決定」が45.9%と最も多く、次いで「活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと」が40.1%、「特に苦労していることはない」が22.0%などとなっている。

図表 22 コロナ禍での活動で苦労していること〔複数回答〕

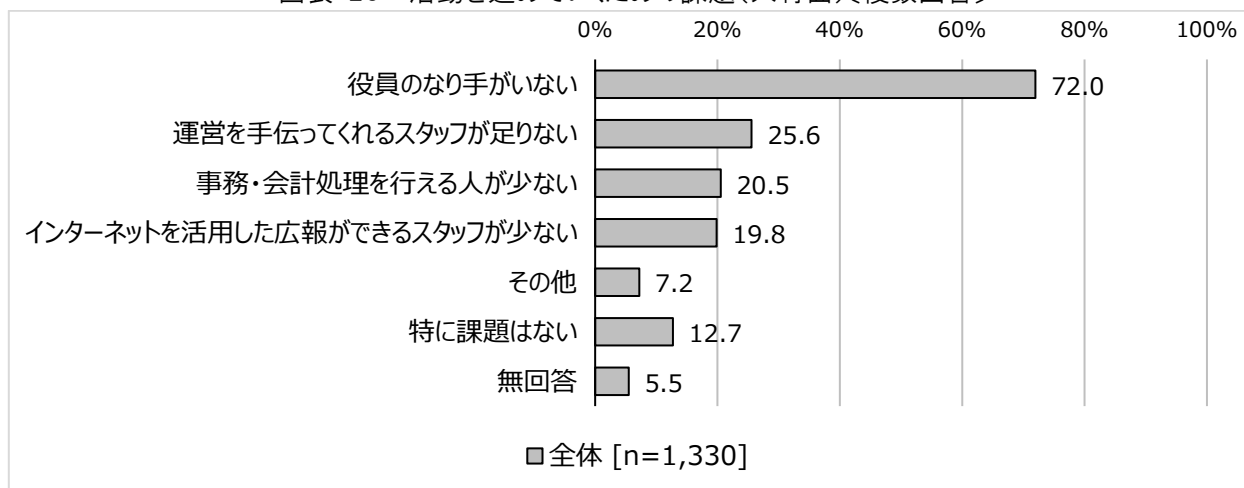




## ②活動を進めていくための課題（人材面）（問 14①）

活動を進めていくための課題（人材面）は、「役員のなり手がいない」が72.0%と最も多く、次いで「運営を手伝ってくれるスタッフが足りない」が25.6%、「事務・会計処理を行える人が少ない」が20.5%などとなっている。

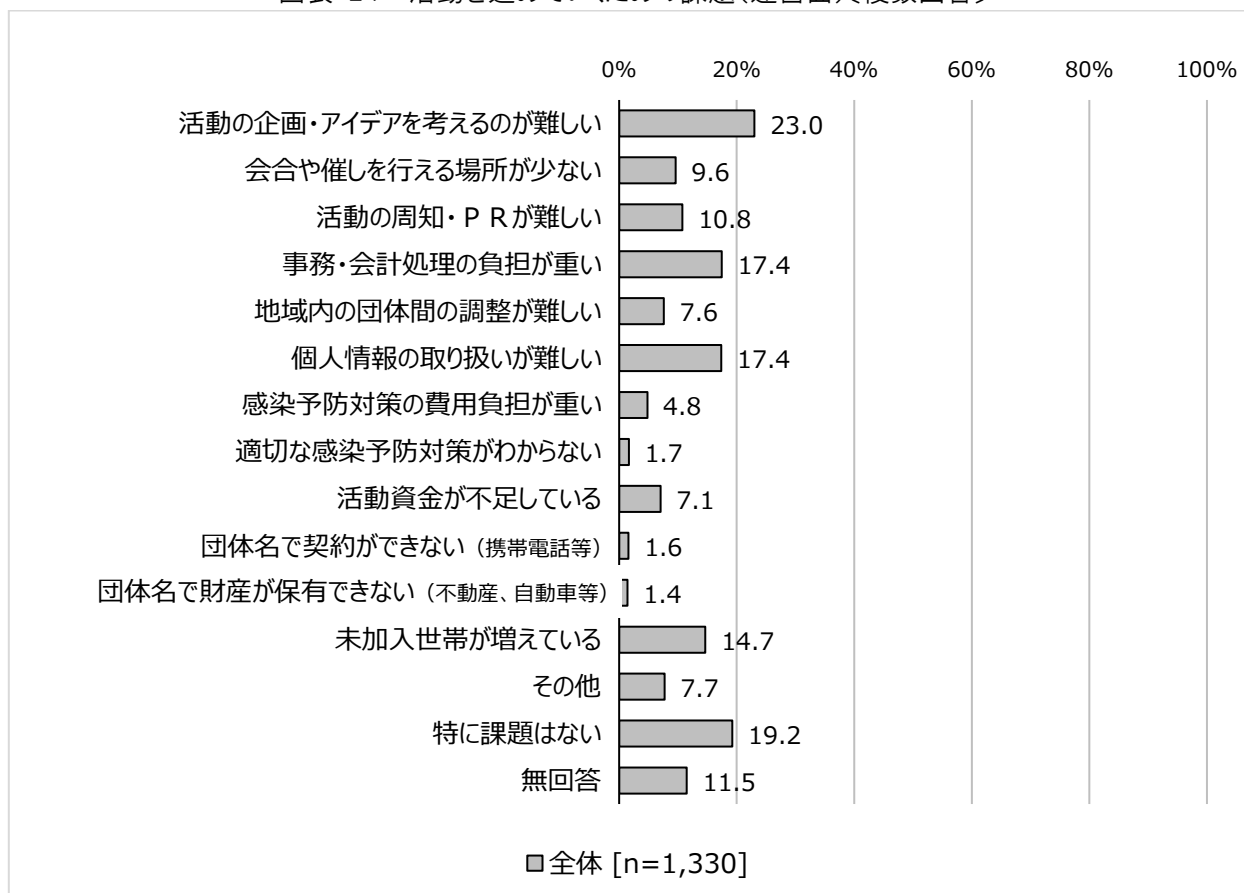
図表 23 活動を進めていくための課題（人材面）〔複数回答〕



## ③活動を進めていくための課題（運営面）（問 14②）

活動を進めていくための課題（運営面）は、「活動の企画・アイデアを考えるのが難しい」が23.0%と最も多く、次いで「特に課題はない」が19.2%、「事務・会計処理の負担が重い」と「個人情報の取り扱いが難しい」が17.4%などとなっている。

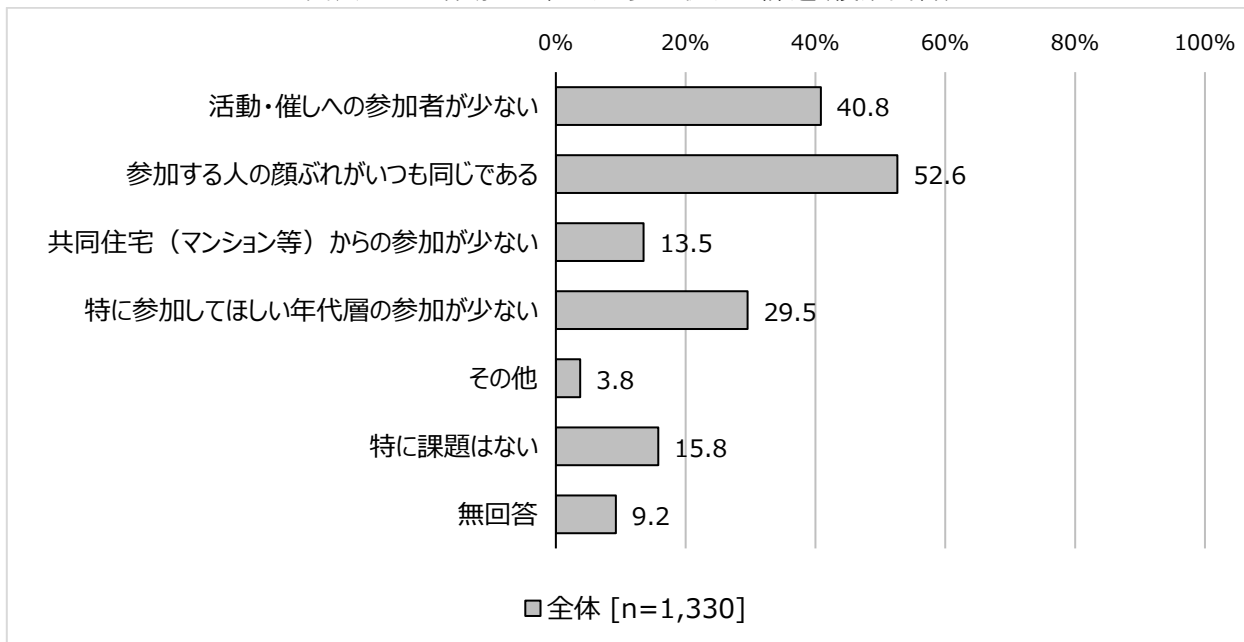
図表 24 活動を進めていくための課題（運営面）〔複数回答〕



#### ④活動への住民の参加状況の課題（問 14③）

活動への住民の参加状況の課題は、「参加する人の顔ぶれがいつも同じである」が52.6%と最も多く、次いで「活動・催しへの参加者が少ない」が40.8%、「特に参加してほしい年代層の参加が少ない」が29.5%などとなっている。

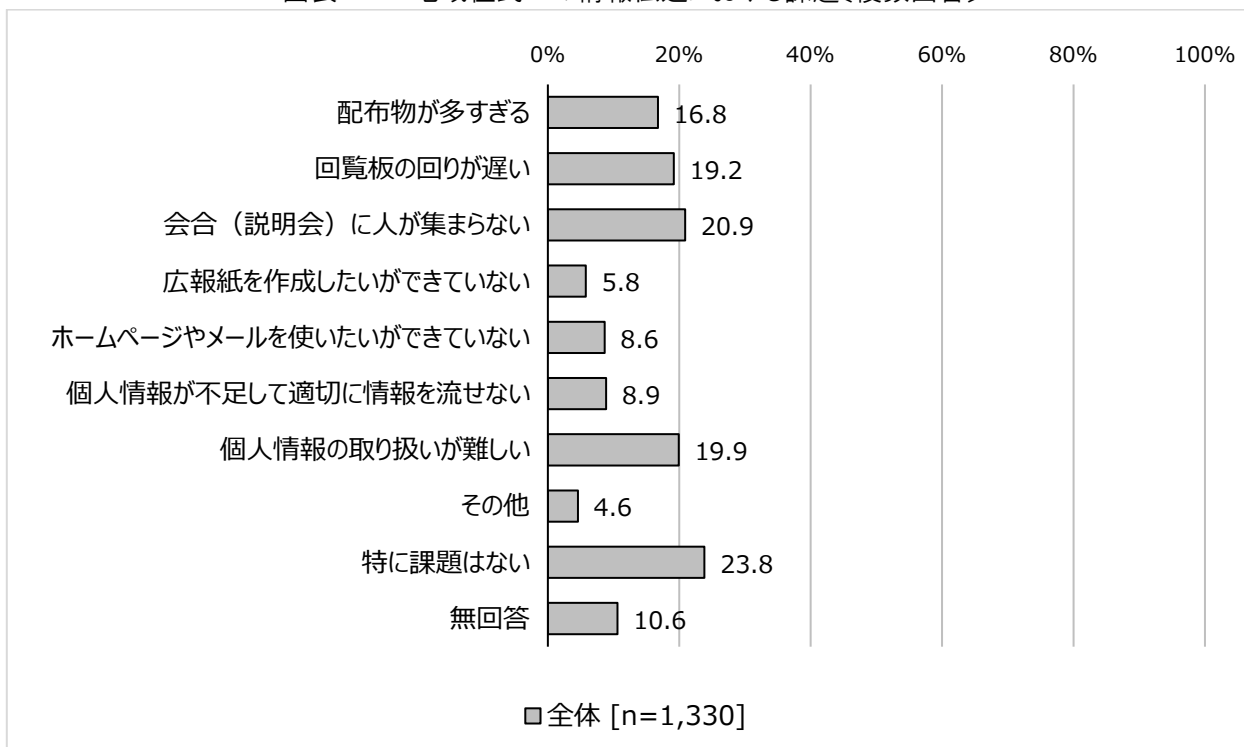
図表 25 活動への住民の参加状況の課題〔複数回答〕



#### ⑤ 地域住民への情報伝達における課題（問 14④）

地域住民への情報伝達における課題は、「特に課題はない」が23.8%と最も多く、次いで「会合（説明会）に人が集まらない」が20.9%、「個人情報の取り扱いが難しい」が19.9%などとなっている。

図表 26 地域住民への情報伝達における課題〔複数回答〕

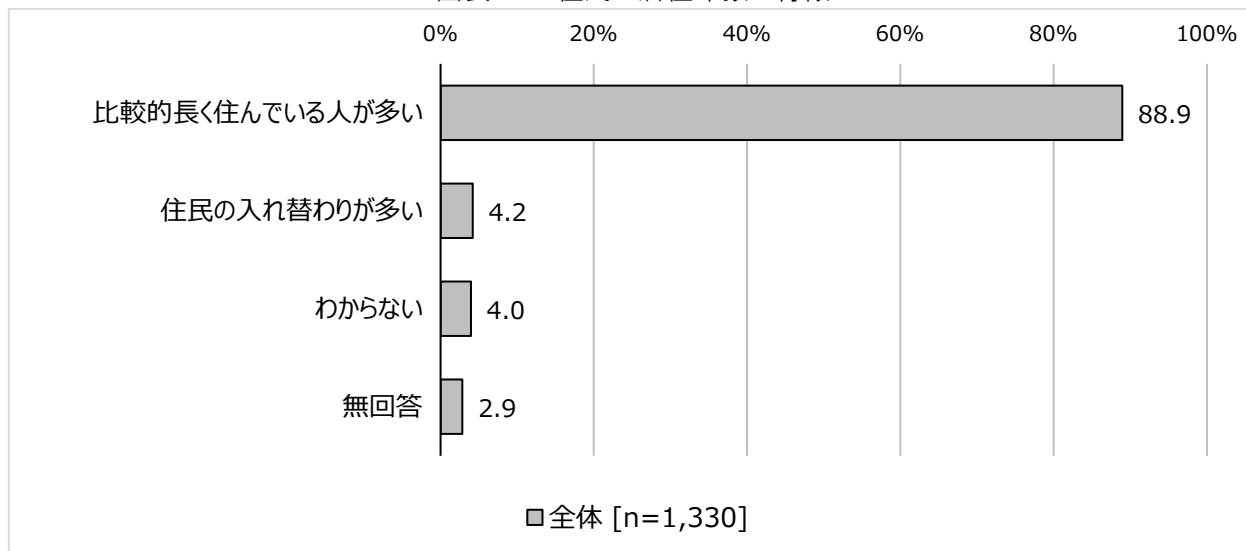


## (7) 団体が活動している地域の状況等

### ①住民の居住年数の特徴（問 19①）

住民の居住年数の特徴は、「比較的長く住んでいる人が多い」が88.9%と最も多くなっている。

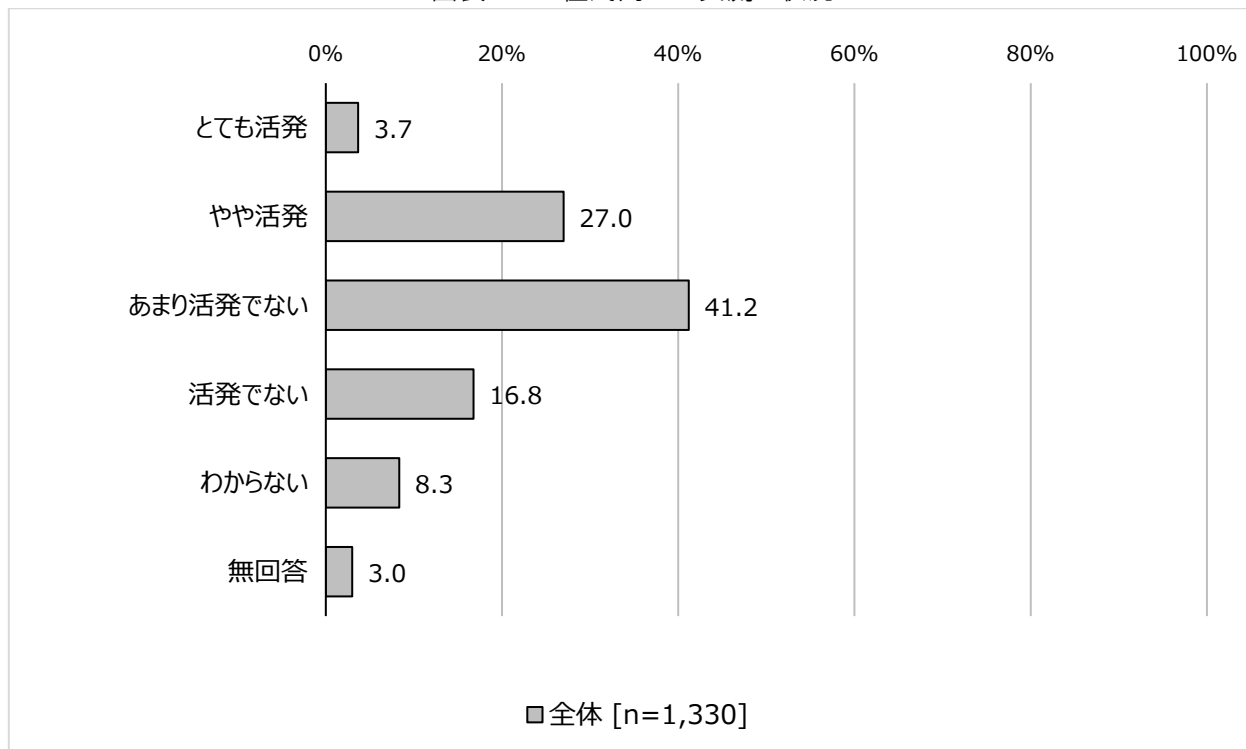
図表 27 住民の居住年数の特徴



### ②住民同士の交流の状況（問 19②）

住民同士の交流の状況は、「あまり活発でない」が41.2%と最も多く、次いで「やや活発」が27.0%、「活発でない」が16.8%などとなっている。

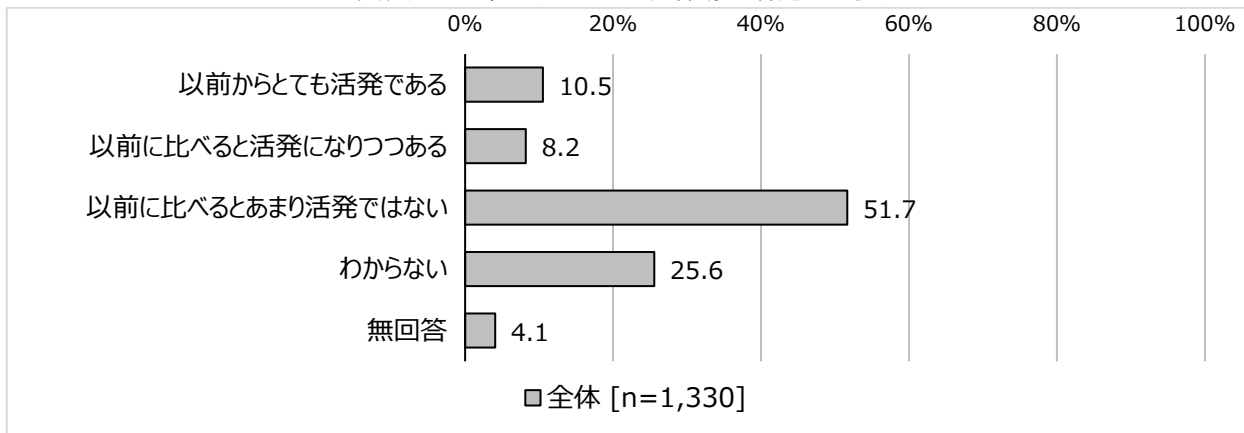
図表 28 住民同士の交流の状況



### ③住民による地域活動の活発さの状況（問 20）

住民による地域活動の活発さの状況は、「以前に比べるとあまり活発ではない」が51.7%と最も多く、次いで「わからない」が25.4%、「以前からとても活発である」が10.5%などとなっている。

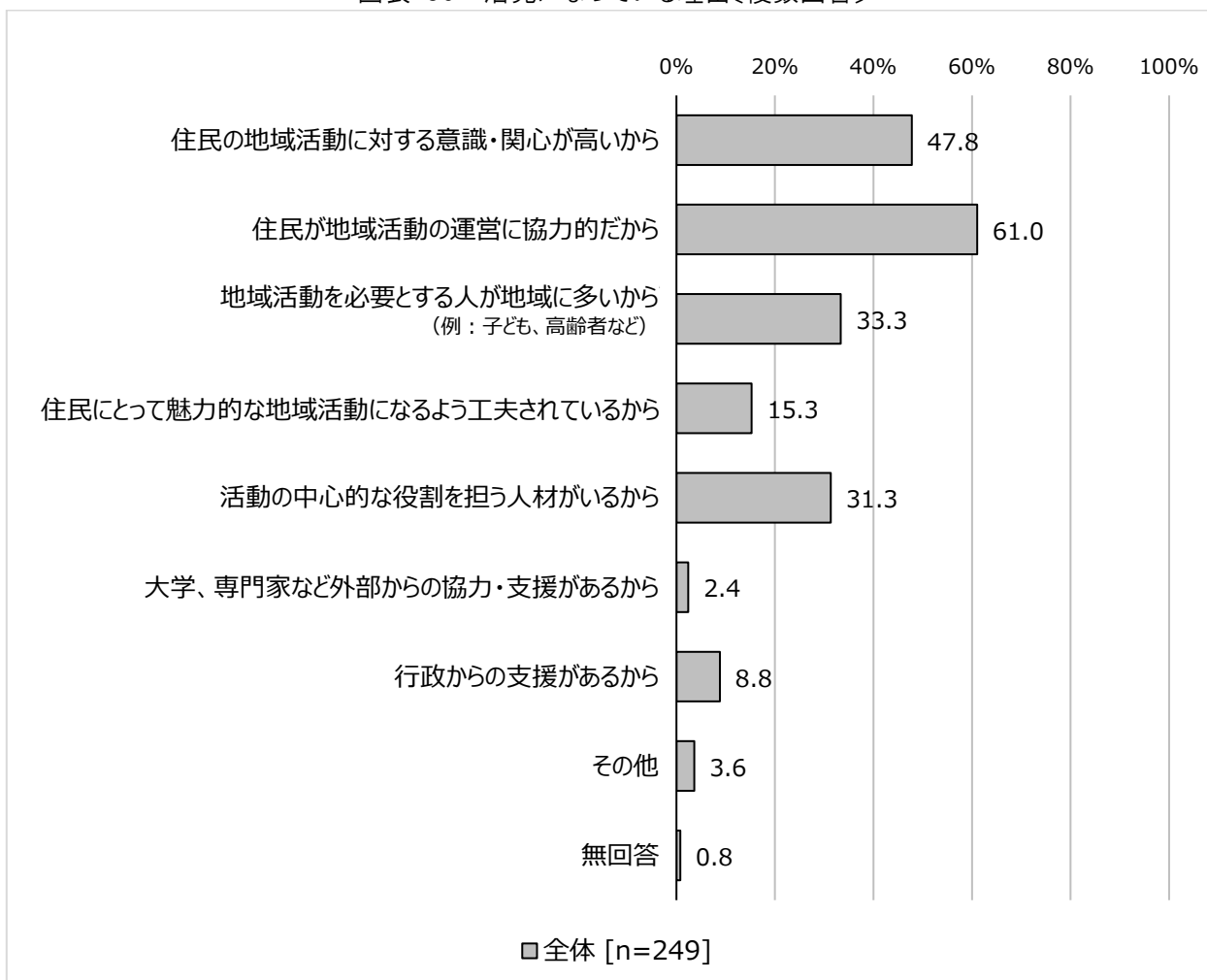
図表 29 住民による地域活動の活発さの状況



### ④活発になっている理由（問 21）

活発になっている理由は、「住民が地域活動の運営に協力的だから」が61.0%と最も多く、次いで、「住民の地域活動に対する意識・関心が高いから」が47.8%、「地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に多いから」が33.3%などとなっている。

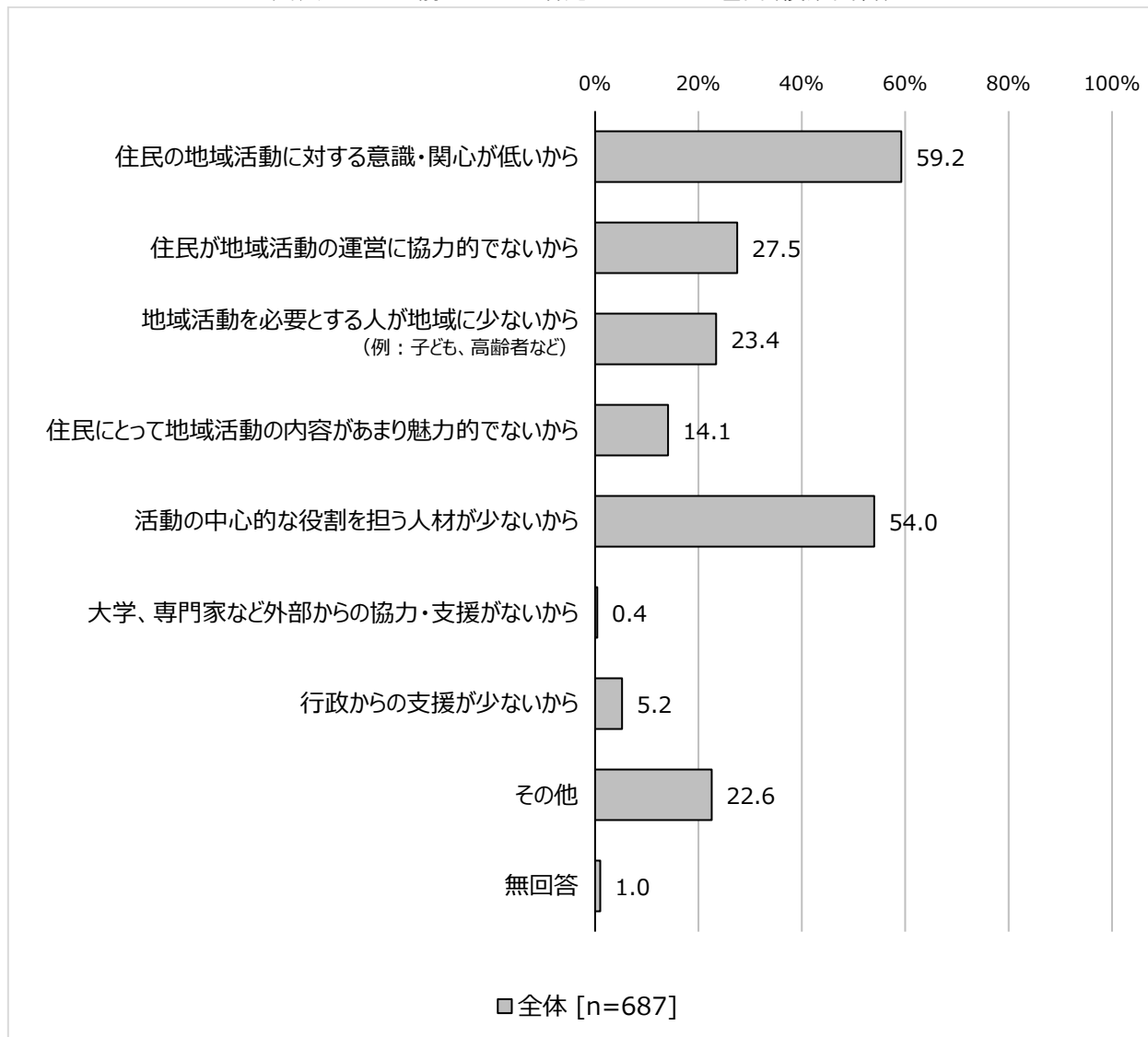
図表 30 活発になっている理由〔複数回答〕



### ⑤以前に比べて活発でなくなった理由（問 22）

以前に比べて活発でなくなった理由は、「住民の地域活動に対する意識・関心が低いから」が59.2%と最も多く、次いで「活動の中心的な役割を担う人材が少ないから」が54.0%、「住民が地域活動の運営に協力的でないから」が27.5%などとなっている。

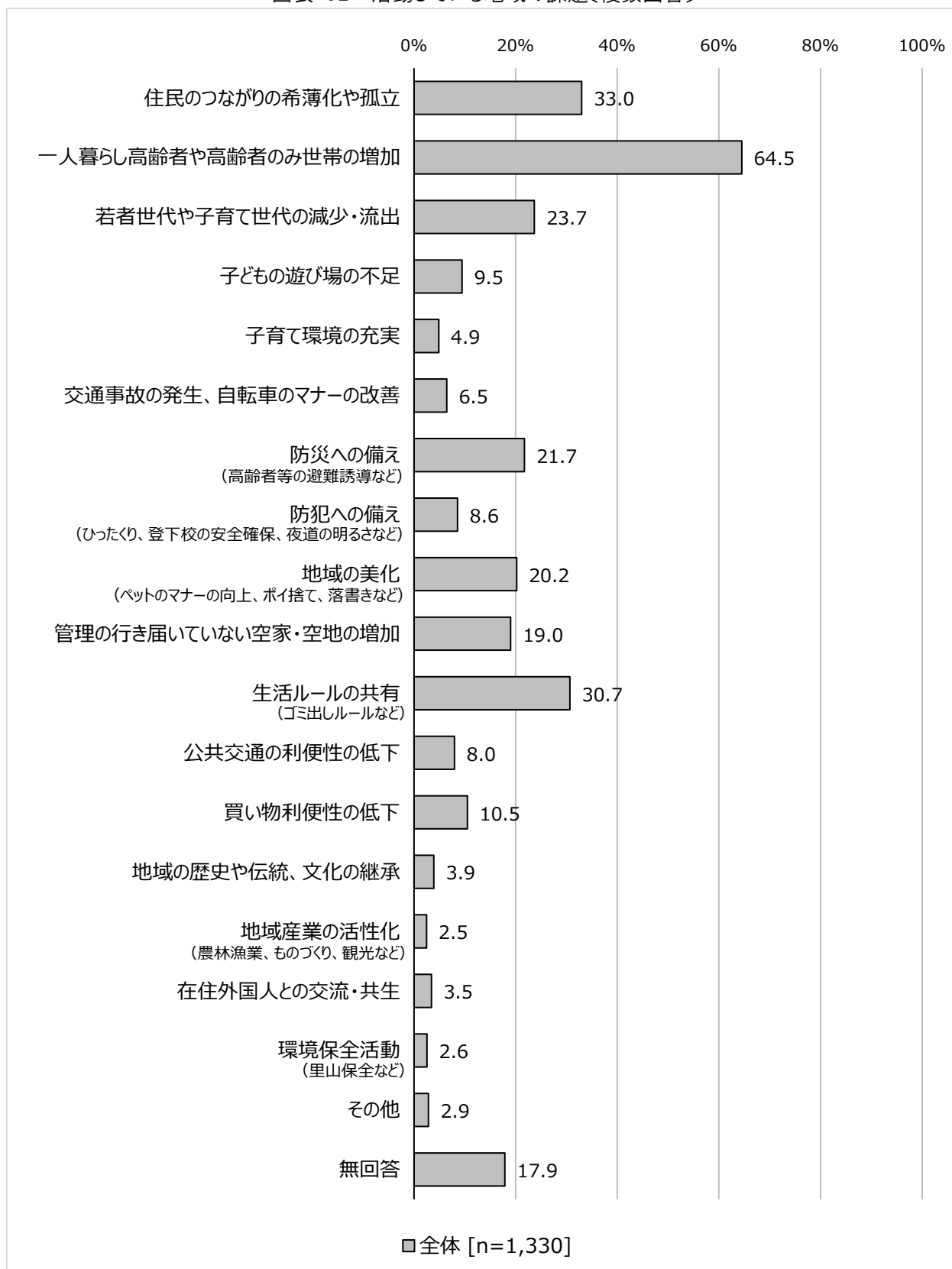
図表 31 以前に比べて活発でなくなった理由〔複数回答〕



## ⑥活動している地域の課題（問 23）

活動している地域の課題は、「一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加」が64.5%と最も多く、次いで「住民のつながりの希薄化や孤立」が33.0%、「生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど）」が30.7%などとなっている。

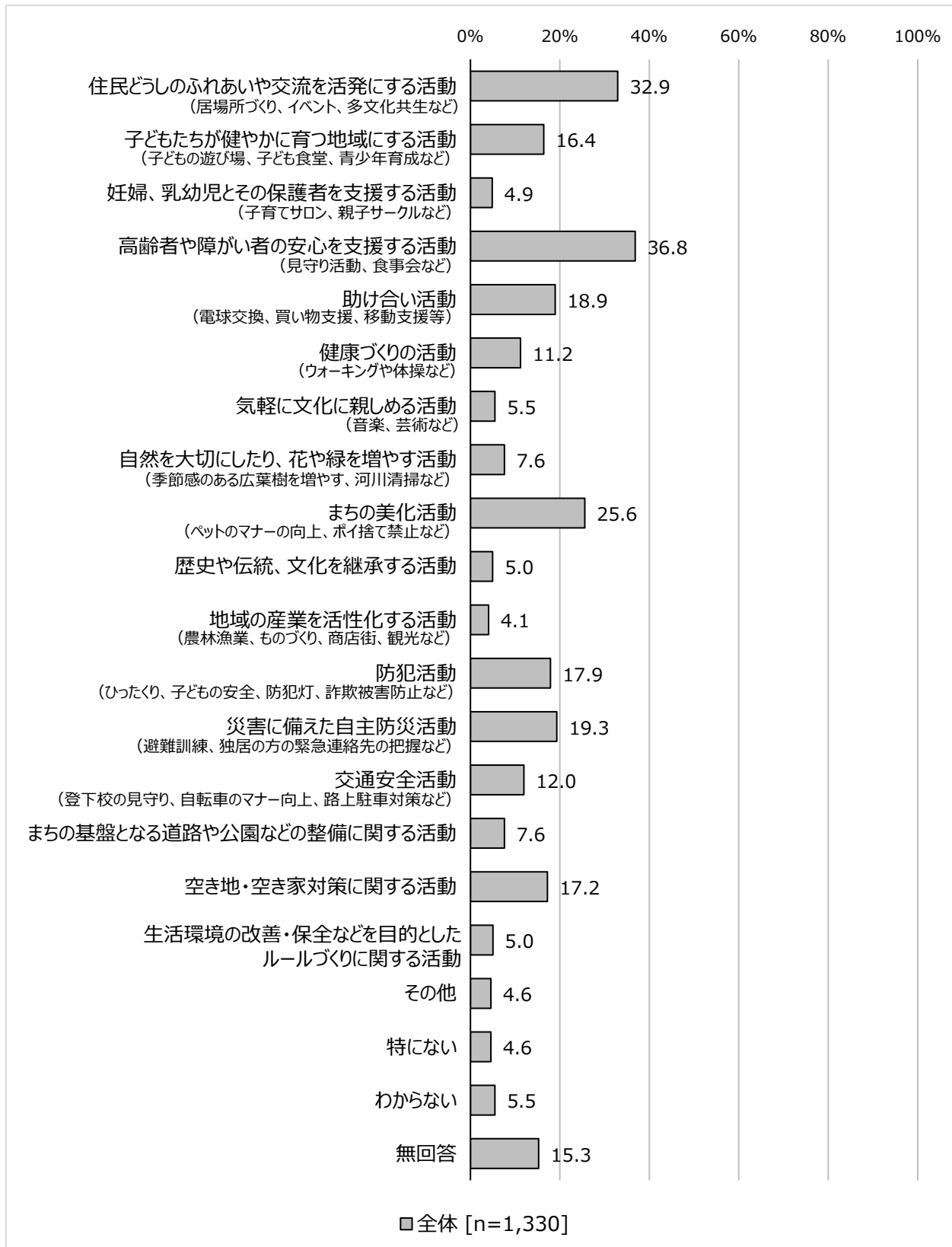
図表 32 活動している地域の課題〔複数回答〕



⑦ 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問 24）

課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なことは、「高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）」が36.8%と最も多く、次いで「住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）」が32.9%、「まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）」が25.6%などとなっている。

図表 33 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと〔複数回答〕

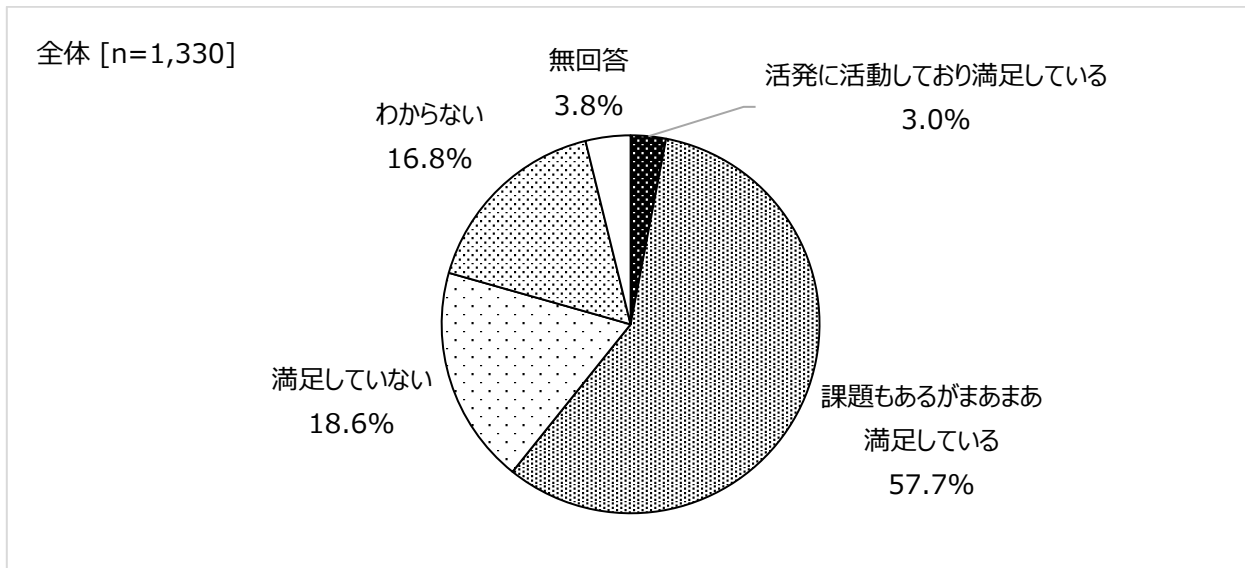


## (8) 今後の活動に向けて

### ①活動の現状についての満足度（問 25）

活動の現状についての満足度は、「課題もあるがまあまあ満足している」が57.7%と最も多く、次いで「満足していない」が18.6%、「わからない」が16.8%などとなっている。

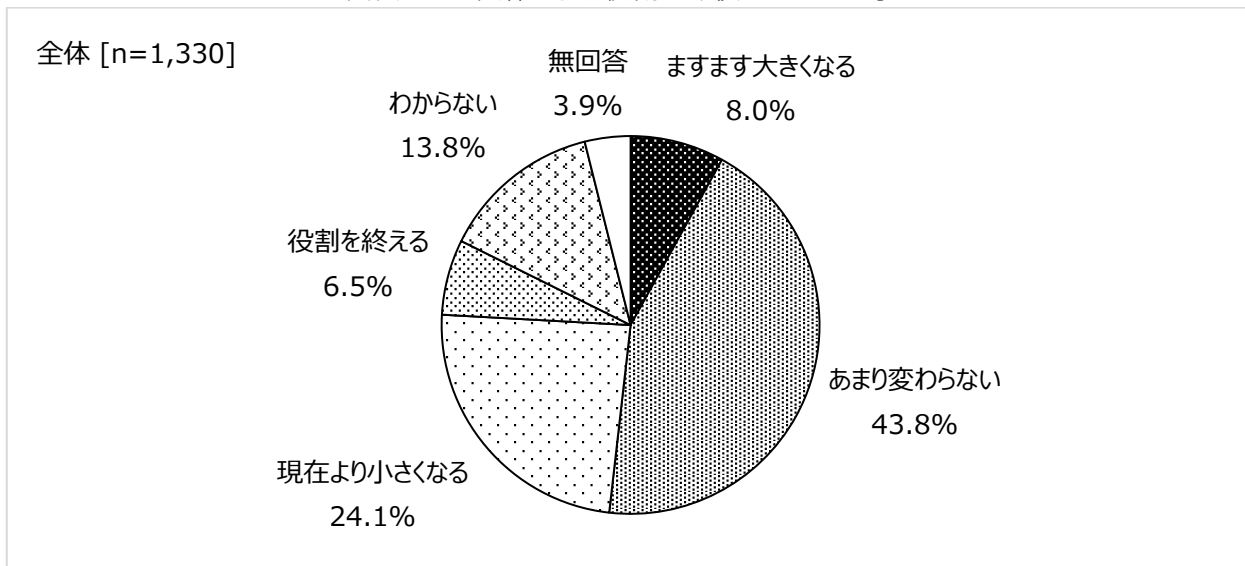
図表 34 活動の現状についての満足度



### ②団体が担う役割の今後についての考え（問 26）

団体が担う役割の今後についての考えは、「あまり変わらない」が43.8%と最も多く、次いで「現在より小さくなる」が24.1%、「わからない」が13.8%などとなっている。

図表 35 団体が担う役割の今後についての考え

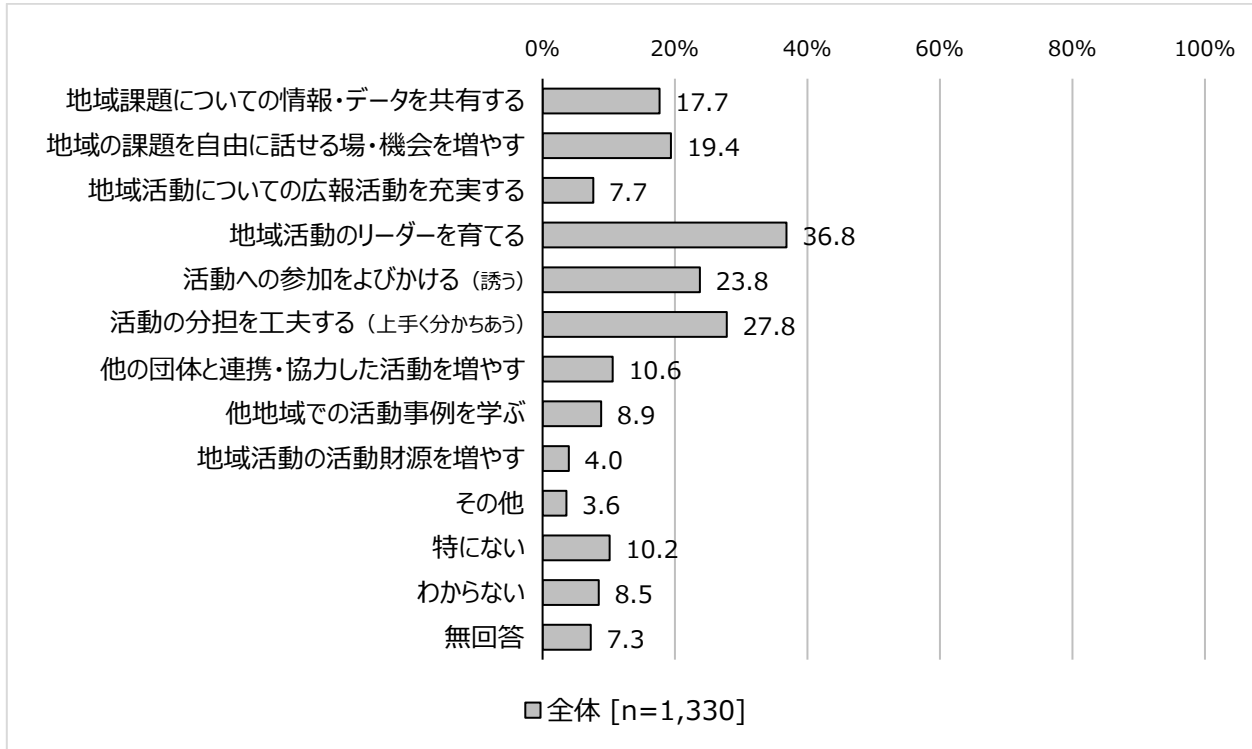




#### ④団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 27）

団体の活動を活発にしていくために必要なことは、「地域活動のリーダーを育てる」が36.8%と最も多く、次いで「活動の分担を工夫する（上手く分かち合う）」が27.8%、「活動への参加をよびかける（誘う）」が23.8%などとなっている。

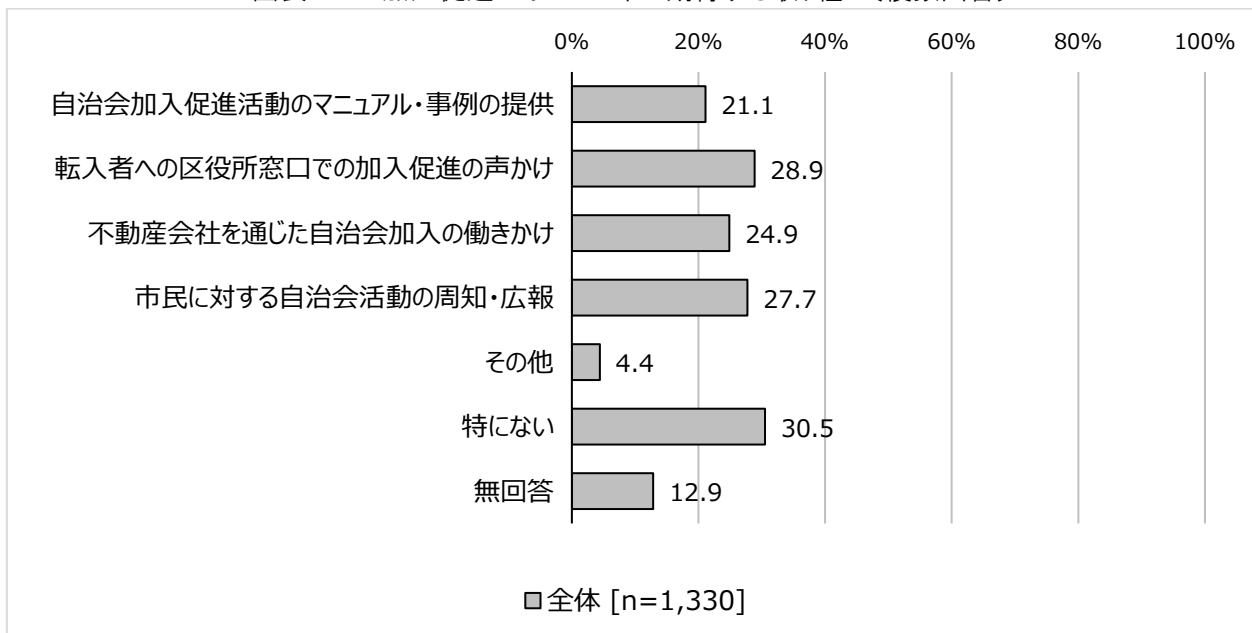
図表 36 団体の活動を活発にしていくために必要なこと〔複数回答〕



#### ⑤加入促進にあたって市に期待する取り組み（問 29）

加入促進にあたって市に期待する取り組みは、「特にない」が30.5%と最も多く、次いで「転入者への区役所窓口での加入促進の声かけ」が28.9%、「市民に対する自治会活動の周知・広報」が27.7%などとなっている。

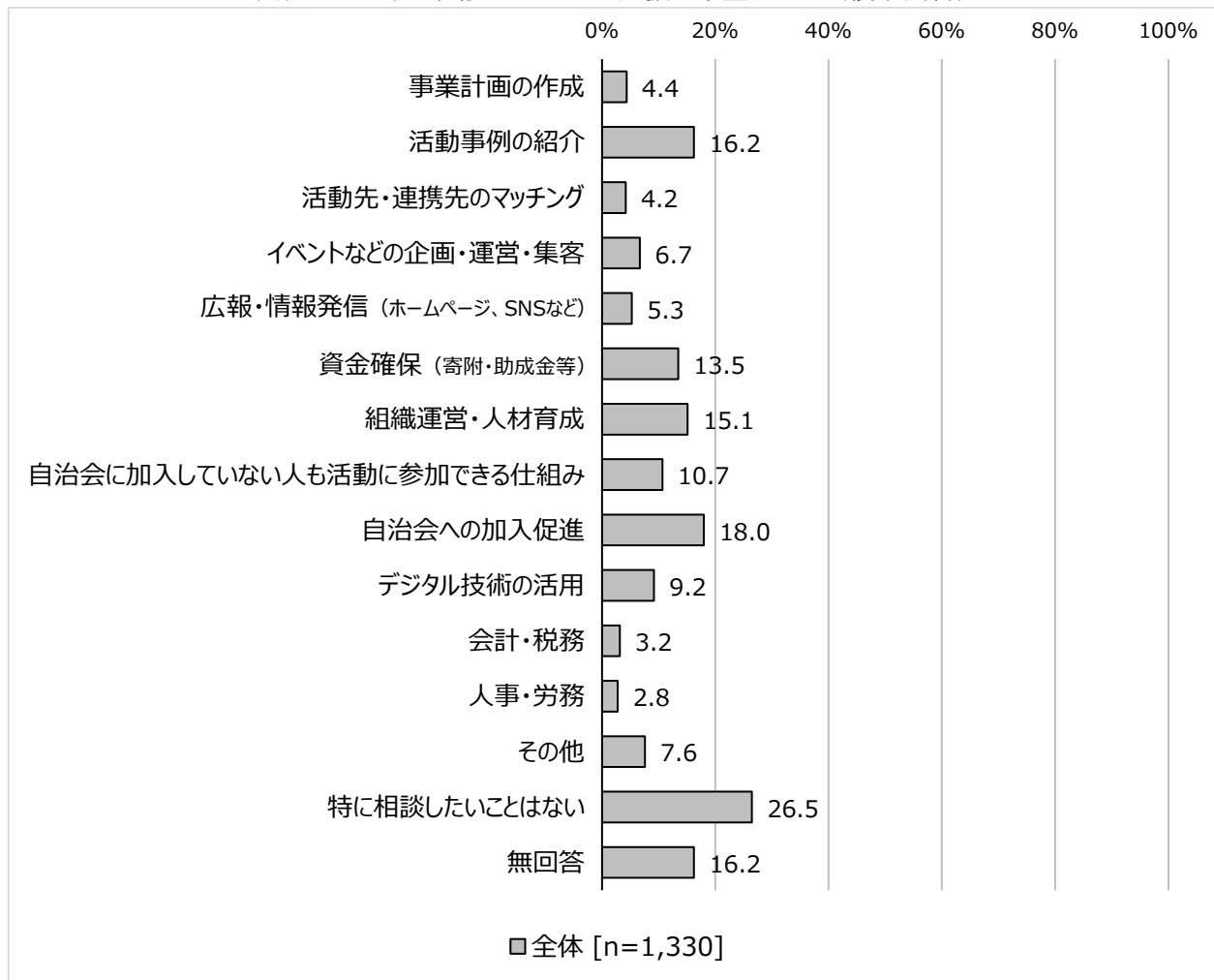
図表 37 加入促進にあたって市に期待する取り組み〔複数回答〕



## ⑥ 市に相談したいことや支援を希望すること（問 30）

市に相談したいことや支援を希望することは、「特に相談したいことはない」が26.5%と最も多く、次いで、「自治会への加入促進」が18.0%、「活動事例の紹介」が16.2%などとなっている。

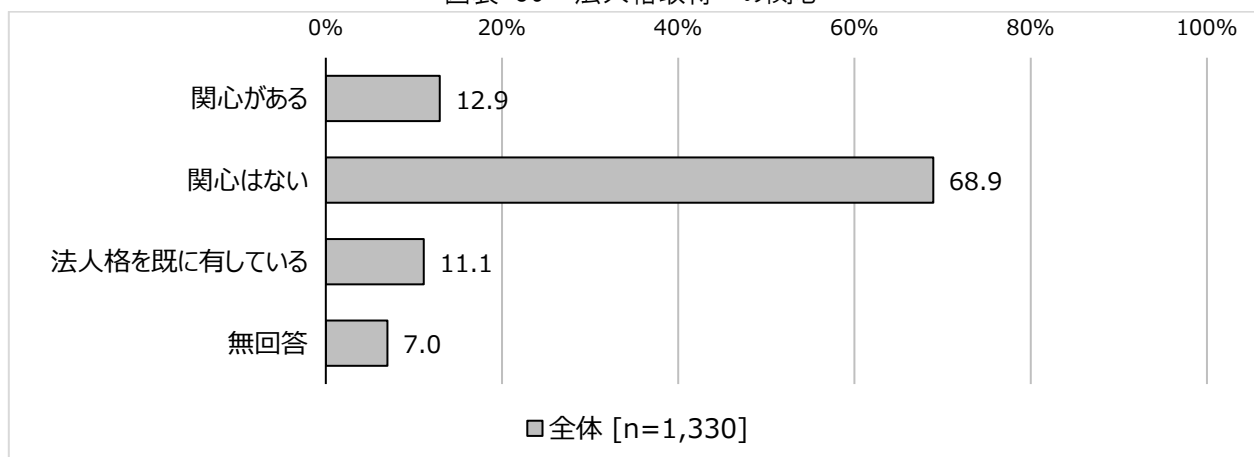
図表 38 市に相談したいことや支援を希望すること〔複数回答〕



## ⑦ 法人格取得への関心（問 31）

法人格取得への関心は、「関心はない」が68.9%と最も多く、次いで、「関心がある」が12.9%、「法人格を既に有している」が11.1%となっている。

図表 39 法人格取得への関心



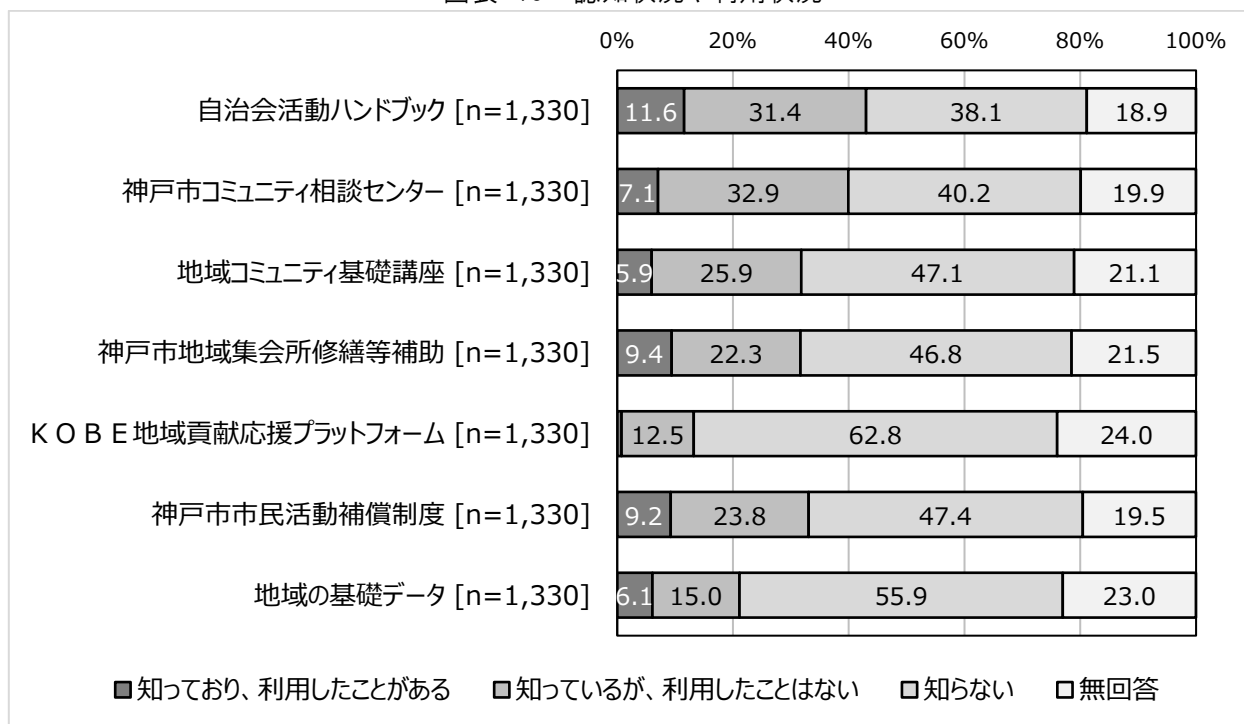
### ⑧自治会支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況（問 32）

自治会支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況は、「知っており、利用したことがある」の割合が高いのは「自治会ハンドブック」の11.6%となっている。

「知っているが、利用したことはない」の割合が高いのは「神戸市コミュニティ相談センター」の32.9%となっている。

一方、「知らない」の割合が高いのは「KOBE地域貢献応援プラットフォーム」の62.8%となっている。

図表 40 認知状況や利用状況



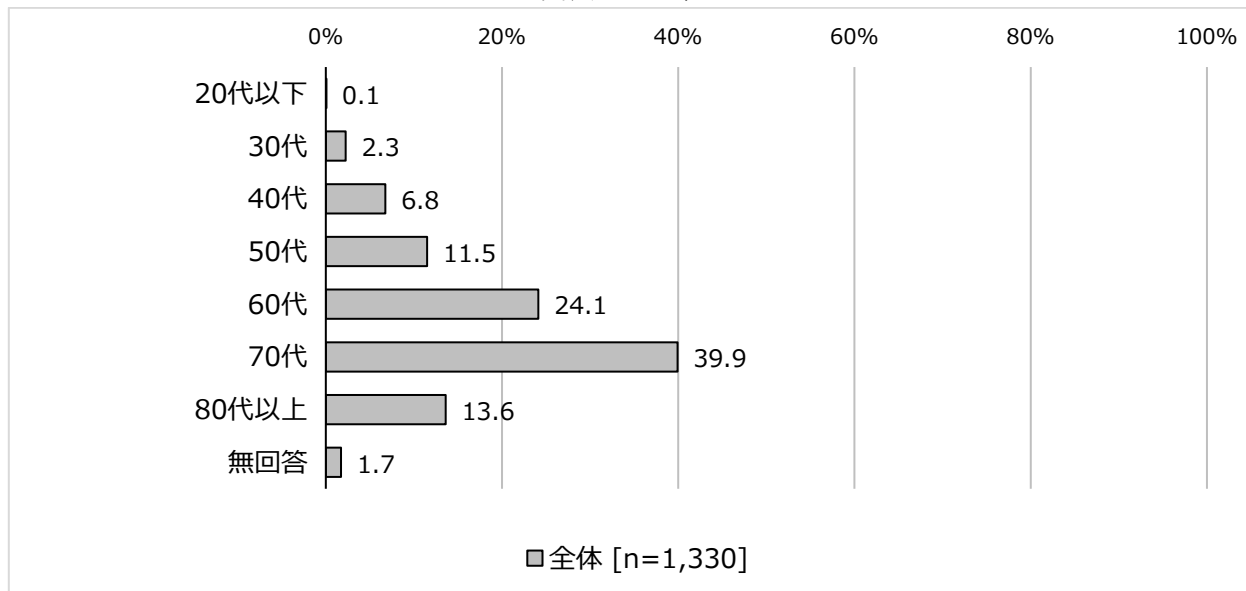
## (10) 代表の活動状況

### ①代表（回答者）の状況（問 40）

#### (ア)年代

年代は、「70代」が39.9%と最も多く、次いで「60代」が24.1%、「80代以上」が13.6%などとなっている。

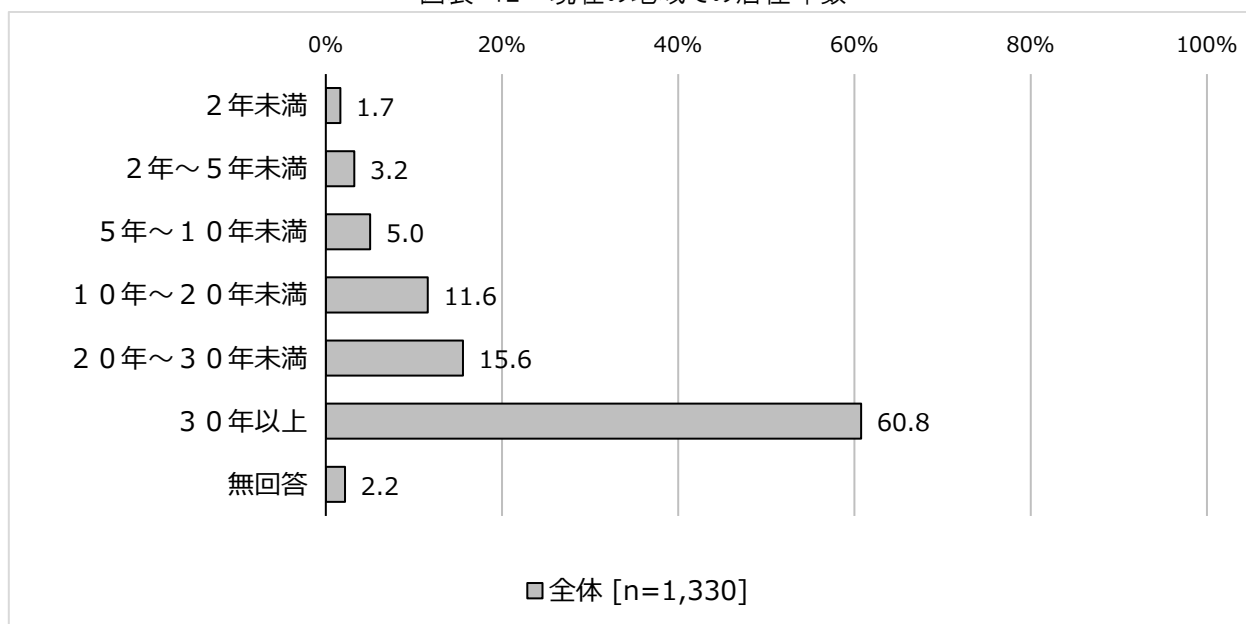
図表 41 年代



#### (イ)現在の地域での居住年数

現在の地域での居住年数は、「30年以上」が60.8%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が15.6%、「10年～20年未満」が11.6%などとなっている。

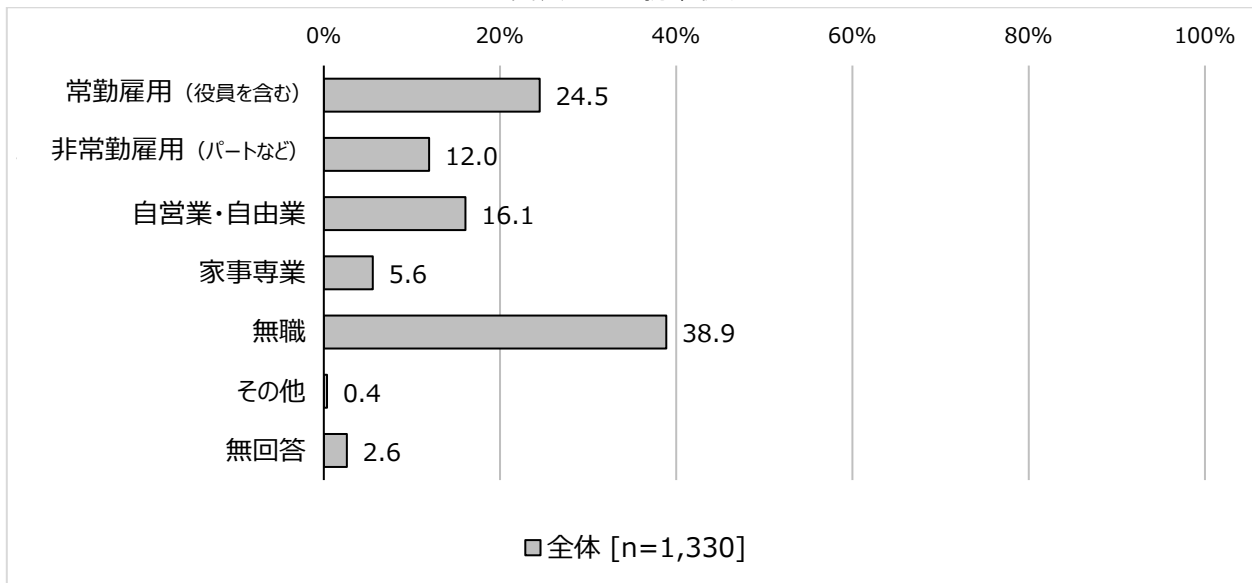
図表 42 現在の地域での居住年数



(ウ) 就業状況

就業状況は、「無職」が38.9%と最も多く、次いで「常勤雇用（役員を含む）」が24.5%、「自営業・自由業」が16.1%などとなっている。

図表 43 就業状況



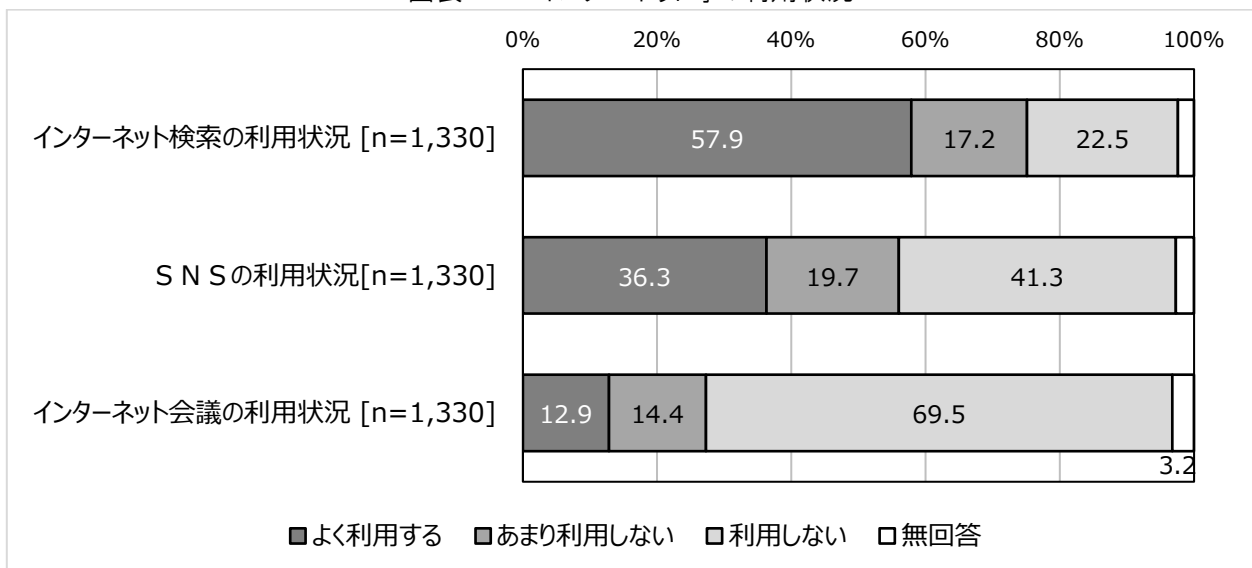
(エ) インターネット等の利用状況

インターネット検索の利用状況は、「よく利用する」が57.9%と最も多く、次いで「利用しない」が22.5%、「あまり利用しない」が17.2%となっている。

S N Sの利用状況は、「利用しない」が41.3%と最も多く、次いで「よく利用する」が36.3%、「あまり利用しない」が19.7%となっている。

インターネット会議の利用状況は、「利用しない」が69.5%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が14.4%、「よく利用する」が12.9%となっている。

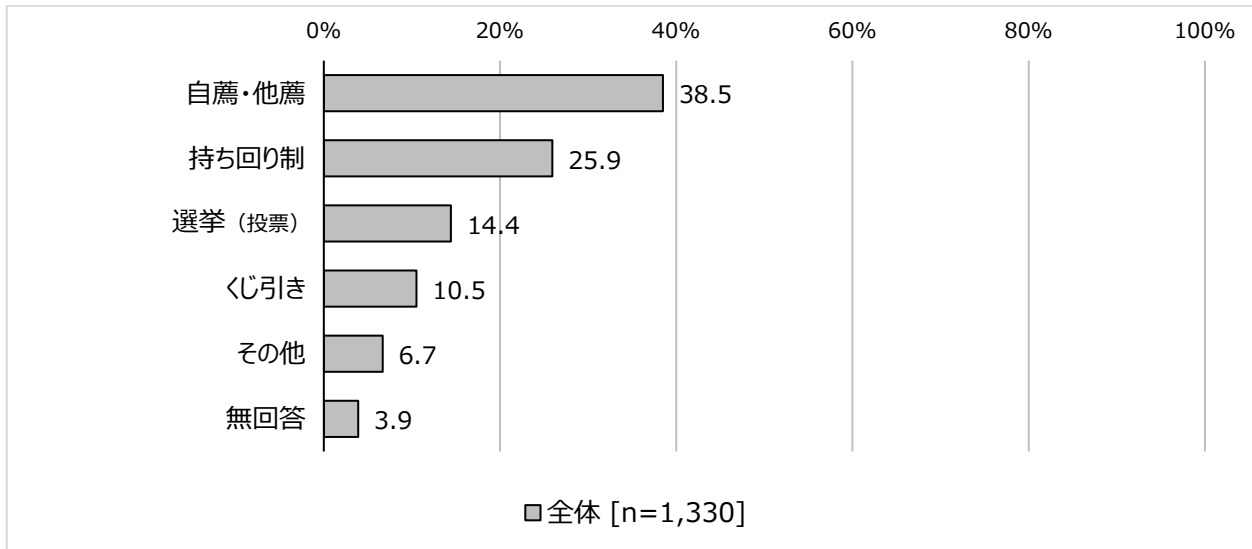
図表 44 インターネット等の利用状況



## ②代表の選出方法（問 33）

代表の選出方法は、「自薦・他薦」が38.5%と最も多く、次いで「持ち回り制」が25.9%、「選挙（投票）」が14.4%などとなっている。

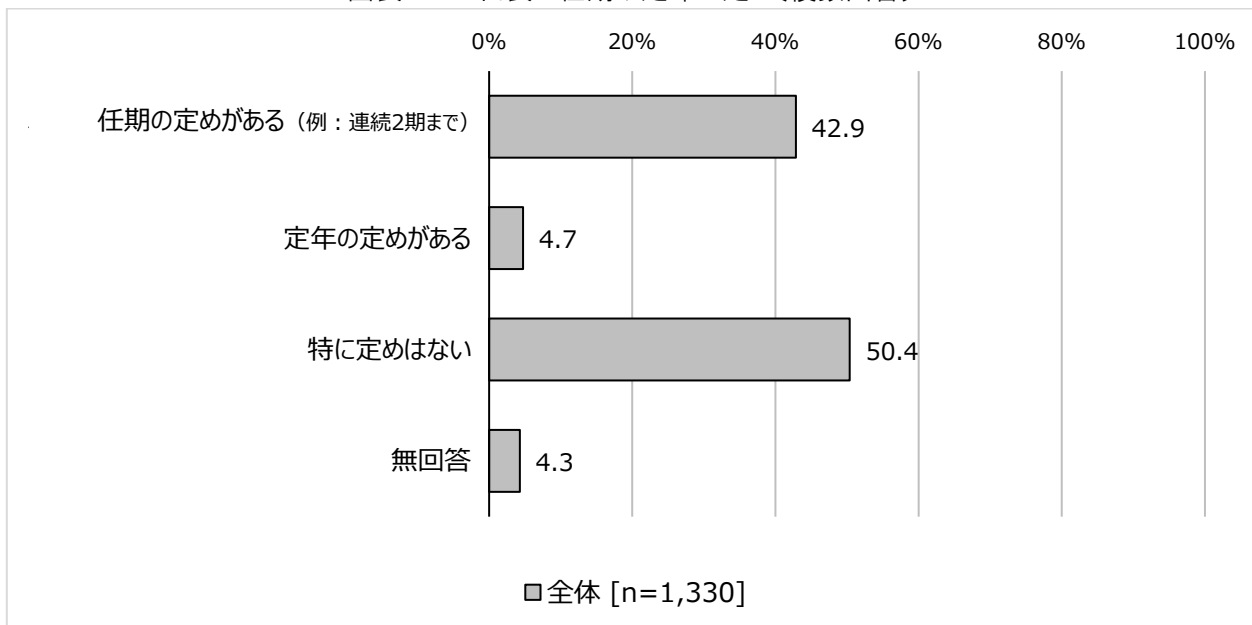
図表 45 代表の選出方法



## ③ 代表の任期や定年の定め（問 34）

代表の任期や定年の定めは、「特に定めはない」が50.4%と最も多く、次いで「任期の定めがある（例：連続2期まで）」が42.9%、「定年の定めがある」が4.7%などとなっている。

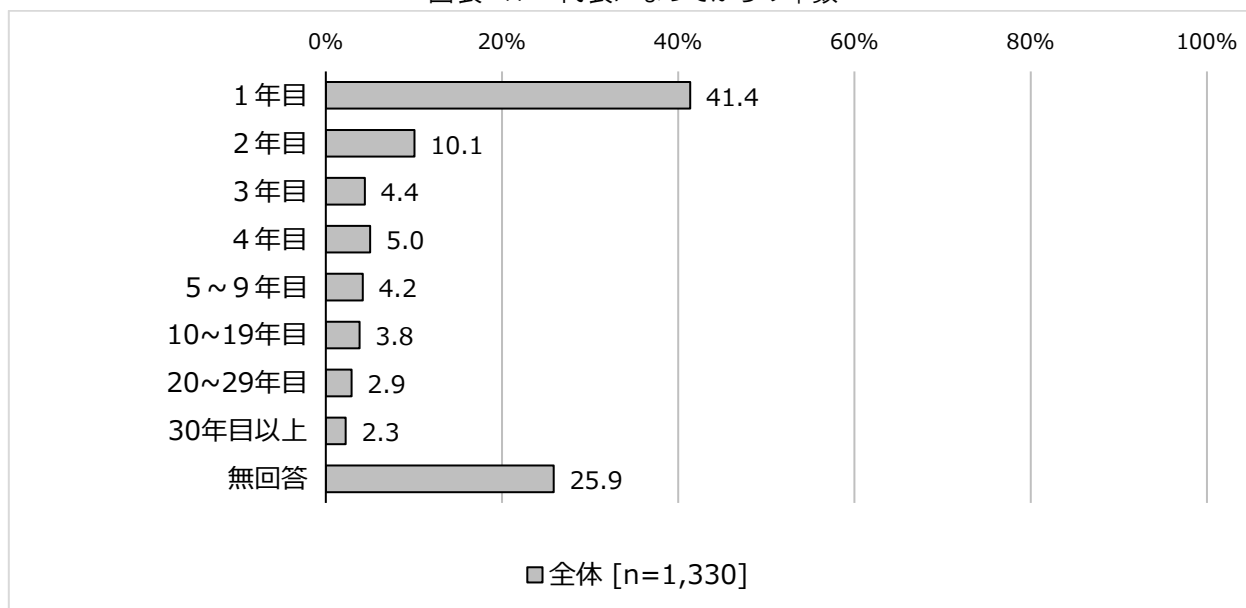
図表 46 代表の任期や定年の定め〔複数回答〕



#### ④代表になってからの年数（問 35）

代表になってからの年数は、「1年目」が41.4%と最も多く、次いで「2年目」が10.1%、「4年目」が5.0%などとなっている。

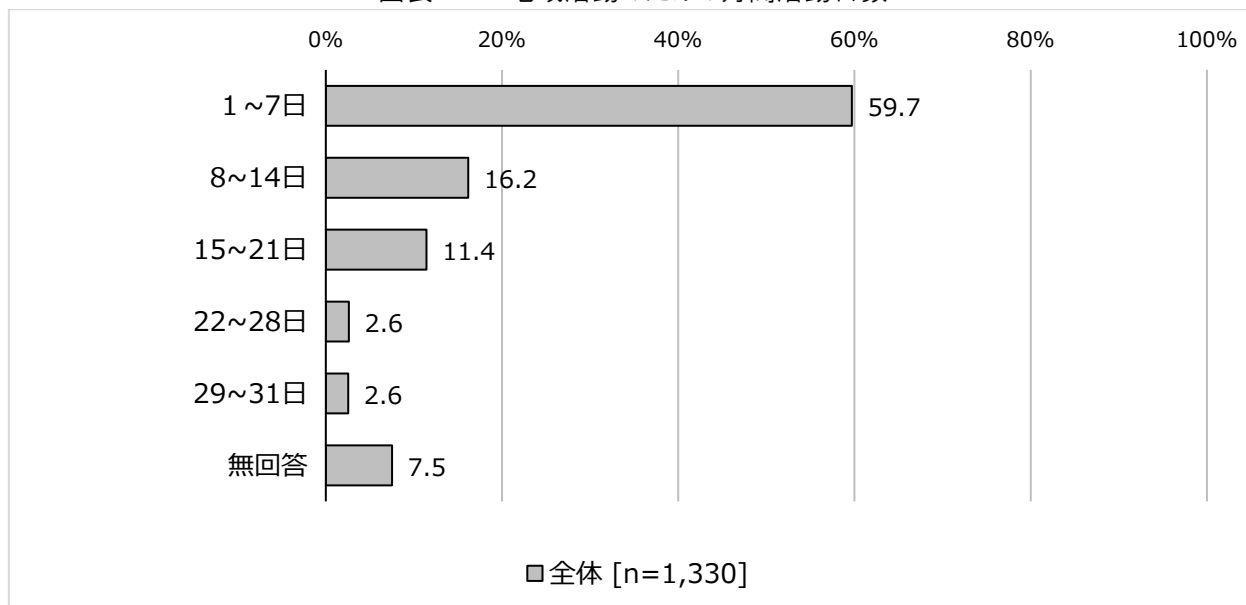
図表 47 代表になってからの年数



#### ⑤ 地域活動のための月間活動日数（問 38）

地域活動のための月間活動日数は、「1～7日」が59.7%と最も多く、次いで「8～14日」が16.2%、「15～21日」が11.4%などとなっている。

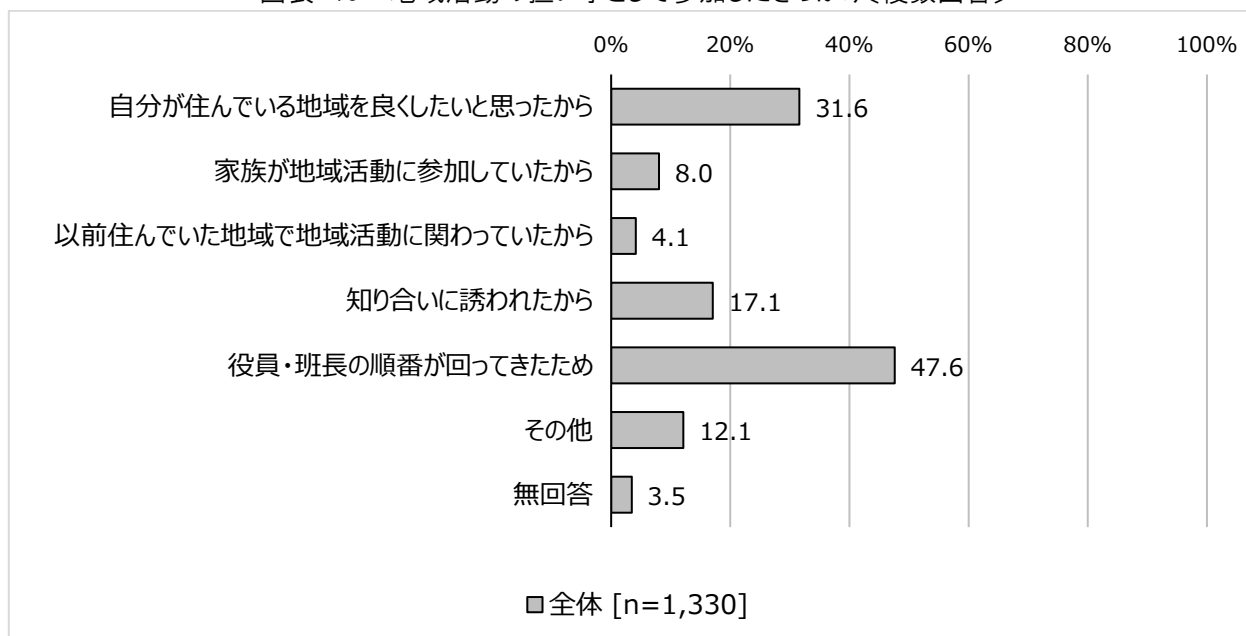
図表 48 地域活動のための月間活動日数



## ⑥地域活動の担い手として参加したきっかけ（問 36）

地域活動の担い手として参加したきっかけは、「役員・班長の順番が回ってきたため」が47.6%と最も多く、次いで「自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから」が31.6%、「知り合いに誘われたから」が17.1%などとなっている。

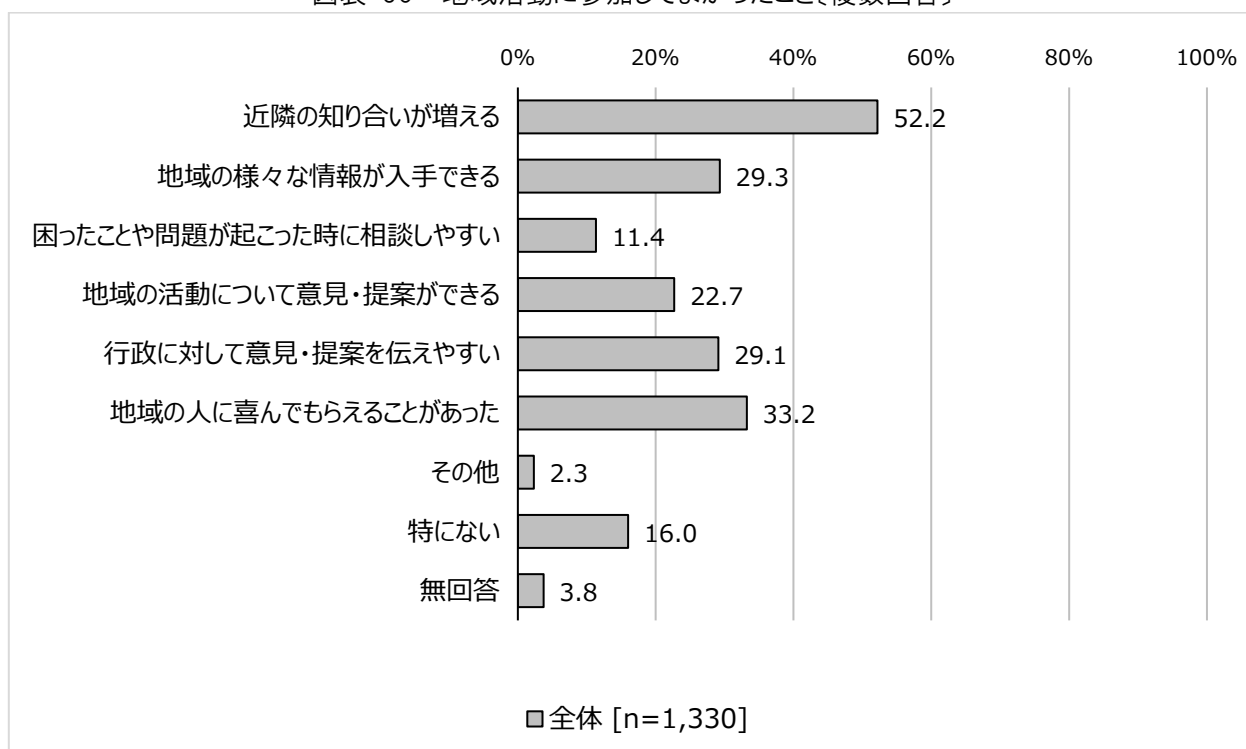
図表 49 地域活動の担い手として参加したきっかけ〔複数回答〕



## ⑦ 地域活動に参加してよかったこと（問 37）

地域活動に参加してよかったことは、「近隣の知り合いが増える」が52.2%と最も多く、次いで「地域の人に喜んでもらえることがあった」が33.2%、「地域の様々な情報が入手できる」が29.3%などとなっている。

図表 50 地域活動に参加してよかったこと〔複数回答〕

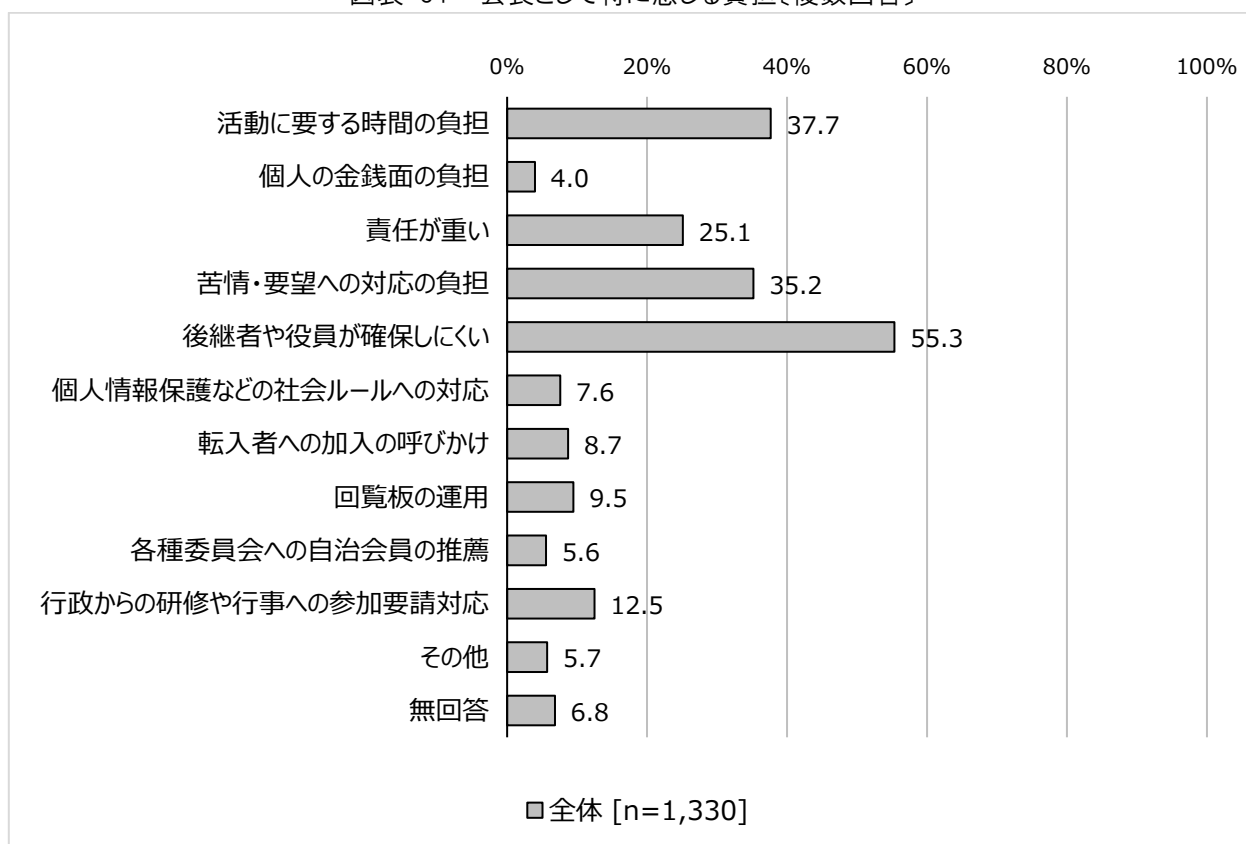




## ⑧会長として特に感じる負担（問 39）

会長として特に感じる負担は、「後継者や役員が確保しにくい」が55.3%と最も多く、次いで「活動に要する時間の負担」が37.7%、「苦情・要望への対応の負担」が35.2%などとなっている。

図表 51 会長として特に感じる負担〔複数回答〕



## (11) 自由意見（問 28）

### ①自治会加入の促進や退会防止での工夫

区分	主なご意見
加入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者に自治会加入をすすめている。</li> <li>・転入世帯に自治会活動に協力していただけるように熱意を伝えている。</li> <li>・自治会加入について、会長はじめ役員が説明している。</li> <li>・転入者、新規入居者があった場合に、住宅のオーナーから連絡を頂き、自治会の会則、ごみ出しの案内を持って自治会への加入のお願いに訪問している。</li> <li>・新たに入居された方へごみ捨てルールや神戸市の情報などを提供をして、自治会加入活動を行っている。</li> <li>・転入居者に1日でも早く自治会加入や組織の説明をしている。</li> <li>・新規転入者に対して自治会加入をよびかけるチラシを配布している。</li> <li>・自治会加入お願いのチラシを作成した。</li> <li>・転入世帯に対して、会の規約・活動内容・会費の用途について説明する。</li> <li>・アパートを管理する不動産会社と連携を強化して、加入者を増加した。</li> <li>・ワンルームマンションが建設されたら、空室があっても管理会社に全戸分加入してもらおうようにしている。</li> <li>・新しく建設されたマンションに自治会の設立を進めている。</li> <li>・新規マンション建設時に行政と連携し、建設企業に対して自治会加入を勧誘している。</li> <li>・新築マンションが建設されたら管理会社と自治会加入について協議している。</li> <li>・集合住宅の建設が増加したため、管理会社と協議を行い、住者に会費徴収とごみ収集ルールを説明するように要請した。</li> <li>・「自治会に加入しませんか」等のパンフレットを作成し、全世帯に配付した。新築マンション等に積極的に呼びかけをしている。</li> <li>・新規マンション説明会に参加し、入会の取組みに努めている。</li> <li>・朝の見守り活動（小・中学生の登校時）に、自治会活動への参加を呼びかけている。市民花壇を婦人会とともに世話し、同時に自治会活動をPRしている。</li> <li>・年度の初めに、未加入世帯に加入の声かけを行った。</li> </ul>
退会防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80才以上の高齢者だけの家は、役員を免除している。</li> <li>・役員や班長の負担感から退会することが多いため、高齢、介護、障がい、子育て等でその役割を引き受けられない世帯には助け合いの精神で免除するようガイドラインを定めて会員に協力を呼びかけた。</li> <li>・退会防止のため、会費を下げた。</li> <li>・一定年齢や障がい等により、役員、当番等を免除している。</li> <li>・自治会費を集金する際に、自治会よりごみ袋を配布している。</li> <li>・退会する人を説得する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入の強制は行わず、自主性にまかせている。退会も同様である。</li> </ul>

## ②運営での工夫

区分	主なご意見
意義・役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入っていて良かったと思えるような自治会を目指したい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動はほぼ中止にしている。自治会が集まることもなくなり、きずながほどけかかっている。来年度の活動がうまくできるか心配である。</li> </ul>
企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員アンケートを行い、活動の変更・廃止をした。</li> <li>・自分達の住んでいる地域に何を望んでいるか、どうありたいかを把握するためにアンケート調査を実施した。</li> <li>・現状の活動を維持し、継続できない新規事業は行わないことにしている。会員の負担を増やさないことが自治会を安定して運営することにつながると考えている。</li> <li>・廃止しても良いことと復活させる方が良いことについて、役員会で話し合い、取り組み内容を見直している。</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをよびかけている。</li> <li>・しばらく顔を見ない人に声をかけるようにしている。お互いに声をかけあう。</li> <li>・普段話をしない人とかわり、様々な事に役員が耳を傾けるようにしている。</li> <li>・高齢者の見守りのため、民生委員と連携し「向こう3軒両隣活動」を実施している。</li> <li>・団地のまわりに花壇を作り、花づくりを通してのコミュニケーション活性化を図っている。</li> <li>・バス停を清掃している。</li> <li>・従来別々に活動していた河川愛護、地域用水路の清掃、神社の樹木の伐採を同一日に実施し参加者負担を軽減した。</li> <li>・防犯灯の設置に取り組んでいる。</li> <li>・災害時は地域で助け合うことが大切なので、防災に力を入れている。</li> <li>・地域住民の防災意識の向上のため、洪水・防災の出前授業を初めて開催した。</li> <li>・地域検定に取り組んでいる。</li> <li>・耐久性、安全性、利便性のすぐれたごみ収納庫を自治会オリジナルで作成して多くのステーションに設置していく。</li> <li>・敬老の粗品配布に加えて、小学校入学・中学校卒業生へのお祝い（図書券）をしている。</li> <li>・亡くなられた方への香典の提供はあるが、出産祝いがなかったため、若い世代にもメリットがあるように出産祝いを来年度から提供するようにしている。</li> </ul>
体制確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の任期を一年とし、順番に役員が回るようにしている。</li> <li>・新しい住民の方を積極的に役員に登用することで活性化を図っている。</li> <li>・できるだけ若い方に活動に参加を呼びかけている。</li> <li>・特別な事情のある方の役員免除についてのルールを検討している。</li> <li>・役員負担の軽減のため、部会を越えてのサポート体制をつくった。</li> <li>・担当者は1名だけにせず、誰かがバックアップできる体制とした。やれることは担当してもらおうが、出来ないときはNOと言えることを活動方針とした。</li> <li>・自治会内の班を細分化して、できるだけ近隣居住者との顔見知りになる機会を多くした。</li> <li>・自治会費の集金やごみ当番を輪番制にしている。</li> </ul>
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会で全員発言する機会を設けている。</li> <li>・自治会、役員会議の開催日より1週間前迄に議事内容を書面にて役員各位に配布することで、開催当日にスピーディーに会議ができるようにした。</li> <li>・毎月の定例会での議事録を回覧している。あわせて意見を記入できるようにしている。</li> <li>・役員には仕事を持っている方や他の役割を兼任されている方もあり、役員の打ち</li> </ul>

区分	主なご意見
	<p>合わせの時間が自由にもてないので、毎月1回の公園清掃の後で必ず打ち合わせの連絡会を持つようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長が担う業務を減らし、仕事の差が少ない分担としたので、担当決めにくじ引きに全員が参加できるようになった。</li> <li>・全ての業務をゼロベースで見直し、負担の大きなものを軽くした。既存のやり方から変えたくない方々への説明に考慮して取り組んだ。</li> <li>・役員負担の軽減のため、ラジオ体操やクリーン作戦での飲料の購入を取りやめた。</li> <li>・会議や行事を減らしている。</li> <li>・自治会役員として自治会運営のための講習会に参加している。</li> <li>・自治会役員初任者講習を受講している。</li> <li>・自治会長の職務マニュアルを作成した。</li> <li>・デジタルを活用した運営をしている。</li> <li>・SNSを使って常に全員が情報共有できるようにした。会長以外にも相談できる体制とした。</li> <li>・業務の引継ができるようにクラウドサービスを利用し書類データを共有している。</li> <li>・役員・班長の業務負担軽減のため、全世帯配布の資料を希望者にはメールで配布する方法に移行していくための準備をしている。</li> <li>・外部委託により、共益費と家賃を一括して徴収している。</li> <li>・役員業務やゴミステーション清掃の委託を検討している。</li> <li>・一斉清掃活動や見守り立ち当番などの自治会活動は任意であることを前提として、身体的・家庭の事情等による免除制度を設けている。</li> </ul>
連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との協働によりイベントを実施した。</li> <li>・地域内の5つの自治会と6つの団体が、地域の会館で地域活動の情報共有のための会議を毎月している。</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会（月一回）の議事録を会員に回覧し、自治会の意義、活動を周知している。</li> <li>・自治会が何をしているのかを見えやすくする。</li> <li>・自治会の広報紙に、自治会の活動の方向性やねらいを書くようにしている。</li> <li>・毎月広報を発行し、きめ細やかな情報発信をしている。</li> <li>・活動（掲示板の新調、敬老の祝配布等）の都度回覧を作成している。</li> <li>・回覧板を月2回に減らした。</li> <li>・回覧をメールで配信している。</li> <li>・SNSを利用し、非会員も登録・閲覧可能にしている。回覧板と併用している。</li> <li>・回覧板にかわって、SNSのオープンチャットを利用している。</li> <li>・会員以外の世帯に対して、クリーンステーション管理の実情や自治会活動の現状等を啓発している。</li> </ul>

### ③コロナ禍において新たに取り組んだこと

区分	主なご意見
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止のため行事をとりやめたり、縮小したりした。</li> <li>・夏は子供まつり、秋は高齢者のイベントと参加する対象者を分けた。</li> <li>・給食を配食に変更した。</li> <li>・ワクチン接種など、地域にとって必要な情報を共有している。</li> <li>・単身世帯の自宅療養者に対して、食料品等の買い出しや配布をした。</li> <li>・掲示板ではなくオープンチャットを用いて広報をした。</li> <li>・集会所に消毒液、体温測定機を設置し、利用者に連絡先を記入してもらった。</li> <li>・商品券やマスクを全戸に配付した。</li> <li>・コロナ見舞金（一世帯5万円）を配布した。</li> </ul>

区分	主なご意見
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会を中止した。</li> <li>・書面による総会及び決議を実施した。</li> <li>・書面により決算報告や活動報告などを行った。</li> <li>・会議を減らした。</li> <li>・役員会の開催を月1回から原則2ヶ月に1回とした。</li> <li>・マスク着用だと声が聞きづらいので、ワイヤレスマイクをレンタルした。</li> <li>・回覧でなく一戸ずつのポスティングに変更した。</li> <li>・回覧板の回覧方式を変更した（対面→ドアノブに吊るす）</li> <li>・コロナ支援のため町会費を減額した。</li> <li>・自治会費を減額した。</li> <li>・コロナ禍で活動を縮小しているため自治会費を徴収していない。</li> <li>・会合ごとに参加者にマスクを5枚配布している。</li> </ul>



# 調査票





# 自治会 調査票

## 1. 貴団体の活動について

問1 貴団体の名称と、加入状況、自治会の区域、法人格の有無をお聞かせください。

①自治会の名称

②地域の世帯数と③加入世帯数

約（ ）世帯中、約（ ）世帯が加入している

③自治会の区域（○印は1つ）

1. 町・丁を単位とするなど地域を区域 2. 団地を区域 3. マンションを区域 4. その他

④法人格の有無（○印は1つ）

1. 法人格はない（任意団体） 2. 認可地縁団体 3. その他の法人格（ ）

問2 貴団体の加入世帯数は、令和元年度に比べてどのように変化していますか。（○印は1つ）

1. 増えた 2. 横ばい 3. 減った 4. わからない

問3 貴団体では、加入促進のため、どのような取り組みをされていますか。（○印はいくつでも）

1. 自治会会長・役員による転入者への面談での説明・勧誘
2. 組（班）長による転入者への面談での説明・勧誘
3. 会報、チラシなどの配布による加入案内・P R
4. ホームページや SNS を利用した加入案内・P R
5. 地域イベント（祭り、防災訓練など）の際に未加入世帯へも自治会への加入案内を配布
6. 区域内で集合住宅が建設されるときに、不動産事業者を通じて自治会への加入を働きかけ
7. その他（ ）
8. 特に何もしていない

問4 貴団体では、自治会を退会されるケースがありますか。（地域外への転居や会員の死亡を除く）

（○印は1つ）

1. 毎年のようにある 2. 時々ある 3. あまりない 4. わからない

（地域外への転居以外の退会理由としては、どのようなものがありますか。分かる範囲でお聞かせください。）

問5 貴団体では、退会を防ぐため、どのような取り組みをされていますか。（○印はいくつでも）

1. 世帯の状況に応じて、役員負担を軽減している（高齢者のみの世帯など）
2. 世帯の状況に応じて、自治会費を減額している
3. 自治会費を引き下げた
4. 広報の強化や行事を増やすなど、活動を活性化した
5. その他（ ）
6. 特に何もしていない

問6 貴団体では、現在どのような活動をしていますか。また、コロナ禍等により現在休止しているが、いずれ再開したい活動と、今後特に力を入れたい活動を、それぞれお聞かせください。

活動		現在実施している (○印はいくつでも)	休止しているが再開したい (○印はいくつでも)	今後特に力を入れたい (○印は5つまで)
記入例	高齢者世帯の見守り、慰問など	1	①	1
	青少年健全育成活動	②	2	②
地域住民の福祉向上に関する こと	① 高齢者世帯の見守り、慰問など	1	1	1
	② 青少年健全育成活動	2	2	2
	③ 子ども会、婦人会、老人クラブなどへの助成	3	3	3
	④ 各種募金や献金活動	4	4	4
	⑤ こども食堂	5	5	5
	⑥ 学習支援	6	6	6
	⑦ 障がい者・福祉施設との交流	7	7	7
	⑧ ①～⑦以外の活動 ( )	8	8	8
環境美化に関する こと	⑨ クリーンステーションの管理・マナー啓発	9	9	9
	⑩ 道路、河川、溝などの清掃・補修	10	10	10
	⑪ 資源ごみや廃品の回収などのリサイクル活動	11	11	11
	⑫ 市民花壇の育成・管理	12	12	12
	⑬ 市民公園の管理・運営	13	13	13
	⑭ ⑨～⑬以外の活動 ( )	14	14	14
安全・安心なまちづくりに 関すること	⑮ 防火・防災活動	15	15	15
	⑯ 交通安全運動 (放置自転車対策を含む)	16	16	16
	⑰ 防犯活動	17	17	17
	⑱ 空き家対策	18	18	18
	⑲ ⑮～⑱以外の活動 ( )	19	19	19
レクリエーション・地域のたすけ あい	⑳ 死亡弔慰金 (物品含む)	20	20	20
	㉑ 出産・敬老等の祝い金 (物品含む)	21	21	21
	㉒ スポーツ大会や各種スポーツ	22	22	22
	㉓ ハイキングや旅行	23	23	23
	㉔ 盆踊りや祭り	24	24	24
	㉕ 趣味、教養のためのつどいや講習会	25	25	25
	㉖ 地域問題の勉強会や講演会	26	26	26
	㉗ 生活物資の共同購入など生活改善運動	27	27	27
	㉘ ㉒～㉗以外の活動 ( )	28	28	28
会の運営	㉙ ニュース (広報紙) の発行	29	29	29
	㉚ 集会所などの財産管理	30	30	30
	㉛ 住民生活に関する市などへの陳情要望	31	31	31
	㉜ 自治会内のもめごとの調整	32	32	32
	㉝ ㉙～㉜以外の活動 ( )	33	33	33
その他	㉞ ①～③のいずれにも当てはまらないその他の活動 ( )	34	34	34

**問7 貴団体の活動において、定期的に利用している市内の施設をお聞かせ下さい。（最大3施設まで）**

（対象となる施設・活動や記入方法の補足）

- ・同じ施設で、2か月に1回以上の頻度で開催している活動について記載してください。
- ・屋外（公園など）での活動は対象外とします。
- ・総会や役員会、イベントの準備・打合せなど、組織運営や準備に関わる活動は対象外とします。
- ・同じ施設で行っている活動が3つ以上ある場合は、参加人数が多いものを優先して記載してください。
- ・施設の所在地（住所）は、番地・建物名まで記入してください。
- ・月当たりの開催日数は、次を参考として記載してください。

毎日 ⇒ 31日 毎週1回 ⇒ 4日 毎月1回 ⇒ 1日 2か月に1回 ⇒ 0.5日

（記入例）

利用施設の名称①	●●会館		
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です） 神戸市 ●● 区 ●●通●—●—● ●●ビル●F		
施設の種別（○は1つ）	① 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室	7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 ( ) 10. その他 ( )	
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①	子育てサロン	1. どなたでも 2. 子ども ③ 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
②	ふれあい喫茶	① どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
③	キッズ体操	1. どなたでも ② 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	1日/月

【回答欄（最大3施設まで）】

利用施設の名称①			
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です）		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室	7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 ( ) 10. その他 ( )	
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

利用施設の名称②	
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	(※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です)
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 ( ) 10. その他 ( )

	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

利用施設の名称③	
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	(※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です)
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 ( ) 10. その他 ( )

	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

**問8 貴団体の会費は、1世帯あたり年額いくらですか。**（○印は1つ）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 0円（集めていない）       | 5. 年額 3,601円～6,000円  |
| 2. 年額 1円～1,200円     | 6. 年額 6,001円～12,000円 |
| 3. 年額 1,201円～2,400円 | 7. 年額 12,001円以上      |
| 4. 年額 2,401円～3,600円 |                      |

**問9 貴団体の直近年度の決算の収入額の規模をお聞かせください。(○印は1つ)**

1. 10万円未満	4. 100万円以上 500万円未満
2. 10万円以上 50万円未満	5. 500万円以上 1,000万円未満
3. 50万円以上 100万円未満	6. 1,000万円以上

**問10 貴団体において、コロナ禍での活動で、現在苦勞していることをお聞かせください。(○印はいくつでも)**

1. 活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと
2. 活動やイベント、会議などの開催可否の決定
3. 活動にあたっての感染拡大防止対策のためのスタッフの確保（消毒作業、来場者の検温等）
4. 活動にあたっての感染拡大防止対策のための消耗品・備品の確保（消毒液、体温計等）
5. 活動やイベントにおける集客
6. 活動やイベントの中止や規模縮小等による収入の減少（参加費・利用料等）
7. 活動やイベント、会議などの活動場所の確保
8. 活動やイベントを運営するためのスタッフの人数確保
9. 活動やイベントを運営するためのスタッフと対面での打ち合わせの場が持ちにくいこと
10. その他（ ）
11. 特に苦勞していることはない

**問11 貴団体におけるデジタル技術の活用状況について、現在実施していることと、今後実施したいことをそれぞれお聞かせください。(○印はいくつでも)**

デジタル技術の活用方法	現在実施している	今後新たに実施したい
(記入例) スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用	①	1
① スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS <sup>※1</sup> 等の活用	1	1
② スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議 <sup>※2</sup> の開催（Zoom など）	2	2
③ 団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用	3	3
④ インターネットを活用した会員や参加者に対する事業の実施 （例：インターネット交流会、インターネット体操）	4	4
⑤ 市が設置した公衆 Wi-Fi 環境の活用	5	5
⑥ 会員や参加者のニーズや感想を把握するためのWEBアンケートの実施	6	6
⑦ インターネットでの参加者の受付	7	7
⑧ 会費や利用料の徴収等にあたってのキャッシュレス決済の活用	8	8
⑨ その他（ ）	9	9
⑩ 現在特に利用していない/今後新たに実施することはない	10	10

※1 SNS LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど  
 ※2 インターネット会議 Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

問12 市からどのような支援があれば、デジタル技術の活用に取り組みやすいですか。(○印はいくつでも)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 団体活動に対応した活用マニュアルの提供 | 5. 機器購入費等の経費に対する補助   |
| 2. デジタル技術活用の講習会の開催     | 6. デジタル技術の活用事例の紹介    |
| 3. 操作方法等のなんでも相談窓口の開設   | 7. その他 ( )           |
| 4. インターネット回線等の環境整備への補助 | 8. デジタル技術を活用するつもりはない |

問13 貴団体では、次に挙げるような講習会が開催された際に参加してみたいですか。(○印はいくつでも)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. パソコン、スマートフォン等の利用方法 | 6. 文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方 |
| 2. ホームページの作成方法        | 7. 画像・動画の編集ソフトの使い方       |
| 3. SNSの利用方法           | 8. 他の団体におけるICTの活用事例の紹介   |
| 4. インターネット会議の実施方法     | 9. その他 ( )               |
| 5. セキュリティ対策           | 10. 参加したい講習会はない          |

問14 貴団体の活動を進めるうえで課題として感じておられることをお聞かせください。

①人材面での課題 (○印は3つまで)

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 役員のなり手がいない          | 4. インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない |
| 2. 運営を手伝ってくれるスタッフが足りない | 5. その他 ( )                    |
| 3. 事務・会計処理を行える人が少ない    | 6. 特に課題はない                    |

②運営面での課題 (○印は3つまで)

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 活動の企画・アイデアを考えるのが難しい | 8. 適切な感染予防対策がわからない          |
| 2. 会合や催しを行える場所が少ない     | 9. 活動資金が不足している              |
| 3. 活動の周知・PRが難しい        | 10. 団体名で契約ができない(携帯電話等)      |
| 4. 事務・会計処理の負担が重い       | 11. 団体名で財産が保有できない(不動産、自動車等) |
| 5. 地域内の団体間の調整が難しい      | 12. 未加入世帯が増えている             |
| 6. 個人情報の取り扱いが難しい       | 13. その他 ( )                 |
| 7. 感染予防対策の負担などが重い      | 14. 特に課題はない                 |

③活動への住民の参加状況での課題 (○印は3つまで)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 活動・催しへの参加者が少ない        | 4. 特に参加してほしい年代層の参加が少ない |
| 2. 参加する人の顔ぶれがいつも同じである    | 5. その他 ( )             |
| 3. 共同住宅(マンション等)からの参加が少ない | 6. 特に課題はない             |

④地域住民への情報伝達における課題 (○印は3つまで)

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 配布物が多すぎる               | 6. 個人情報不足して適切に情報を流せない |
| 2. 回覧板の回りが遅い              | 7. 個人情報の取り扱いが難しい      |
| 3. 会合(説明会)に人が集まらない        | 8. その他 ( )            |
| 4. 広報紙を作成したいができていない       | 9. 特に課題はない            |
| 5. ホームページやメールを使いたいができていない |                       |



問15 貴団体は、他の団体と行事や情報交換などの連携をしていますか。既に連携している団体と、今後新たに連携したい団体を、それぞれお聞かせください。(○印はいくつでも)

連携先となる団体	既に連携している団体	新たに連携したい団体
(記入例) 他の自治会	1	①
①他の自治会	1	1
②婦人会	2	2
③ふれあいのまちづくり協議会 (小学校単位のまちづくり組織)	3	3
④まちづくり協議会 (特定エリアのまちづくり組織)	4	4
⑤防災福祉コミュニティ	5	5
⑥青少年育成協議会	6	6
⑦老人クラブ	7	7
⑧子ども会	8	8
⑨ P T A	9	9
⑩民生委員・児童委員	10	10
⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所	11	11
⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校	12	12
⑬公民館、児童館等の公共施設	13	13
⑭ N P O、ボランティア団体	14	14
⑮地域の企業・事業者・商店など	15	15
⑯既存の団体に参加していない個人	16	16
⑰その他 ( )	17	17
⑱現在特に連携していない/今後新たに連携する予定はない	18	18

問16 貴団体が、これまで他の団体と連携して取り組んだことの概要をお聞かせください。

	連携先	連携内容、発揮された強み (貴団体、連携先団体)
事例 1		
事例 2		
事例 3		

問17 貴団体が、婦人会やふれあいのまちづくり協議会、NPO 法人等、他の団体と今後連携して取り組みたいことがあれば、アイデアをお聞かせください。

	連携したい相手	連携して実現したいこと
連携 1		
連携 2		
連携 3		

## 2. 貴団体が活動している地域の状況等について

問18 貴団体の活動している地域（小学校区）をお聞かせください。

( ) 小学校区 ※複数校区が該当する場合は、複数記入可  
※小学校区が分からない場合 ( )  
(記入例：◆◆区●●町▲丁目～■丁目)

問19 貴団体の活動している地域はどのようなまちでしょうか。次の①・②について、それぞれご回答ください。

①住民の居住年数の特徴（○印は1つ）

1. 比較的長く住んでいる人が多い 2. 住民の入れ替わりが多い 3. わからない

②住民同士の交流（○印は1つ）

1. とても活発 2. やや活発 3. あまり活発でない 4. 活発でない 5. わからない

問20 貴団体の活動している地域では、住民による地域活動が活発に行われていますか（○印は1つ）

1. 以前からとても活発である } 問21へ  
2. 以前に比べると活発になりつつある }  
3. 以前に比べるとあまり活発ではない → 問22へ  
4. わからない → 問23へ

問21 活発になっている理由は何だと思われますか。（○印は3つまで）

1. 住民の地域活動に対する意識・関心が高いから  
2. 住民が地域活動の運営に協力的だから  
3. 地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に多いから  
4. 住民にとって魅力的な地域活動になるよう工夫されているから  
5. 活動の中心的な役割を担う人材がいるから  
6. 大学、専門家など外部からの協力・支援があるから  
7. 行政からの支援があるから  
8. その他 ( )

問22 以前に比べて活発でなくなった理由は何だと思われますか。（○印は3つまで）

1. 住民の地域活動に対する意識・関心が低いから  
2. 住民が地域活動の運営に協力的でないから  
3. 地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に少ないから  
4. 住民にとって地域活動の内容があまり魅力的でないから  
5. 活動の中心的な役割を担う人材が少ないから  
6. 大学、専門家など外部からの協力・支援がないから  
7. 行政からの支援が少ないから  
8. その他 ( )



問23 貴団体の活動している地域には、特にどのような課題があると思いますか。(○印は5つまで)

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 住民のつながりの希薄化や孤立                 | 10. 管理の行き届いていない空家・空地の増加           |
| 2. 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加            | 11. 生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど）           |
| 3. 若者世代や子育て世代の減少・流出               | 12. 公共交通の利便性の低下                   |
| 4. 子どもの遊び場の不足                     | 13. 買い物利便性の低下                     |
| 5. 子育て環境の充実                       | 14. 地域の歴史や伝統、文化の継承                |
| 6. 交通事故の発生、自転車のマナーの改善             | 15. 地域産業の活性化<br>(農林漁業、ものづくり、観光など) |
| 7. 防災への備え（高齢者等の避難誘導など）            | 16. 在住外国人との交流・共生                  |
| 8. 防犯への備え（ひたくり、登下校の安全確保、夜道の明るさなど） | 17. 環境保全活動（里山保全など）                |
| 9. 地域の美化（ペットのマナーの向上、ポイ捨て、落書きなど）   | 18. その他<br>( )                    |

問24 問23の課題を解決していくために、今後どのようなことに、今よりもっと力を入れて取り組むことが必要と思われますか。(○印は5つまで)

1. 住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）
2. 子どもたちが健やかに育つ地域にする活動（子どもの遊び場、子ども食堂、青少年育成など）
3. 妊婦、乳幼児とその保護者を支援する活動（子育てサロン、親子サークルなど）
4. 高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）
5. 助け合い活動（電球交換、買い物支援、移動支援等）
6. 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）
7. 気軽に文化に親しめる活動（音楽、芸術など）
8. 自然を大切にしたり、花や緑を増やす活動（季節感のある広葉樹を増やす、河川清掃など）
9. まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）
10. 歴史や伝統、文化を継承する活動
11. 地域の産業（農林漁業、ものづくり、商店街、観光など）を活性化する活動
12. 防犯活動（ひたくり、子どもの安全、防犯灯、詐欺被害防止など）
13. 災害に備えた自主防災活動（避難訓練、独居の方の緊急連絡先の把握など）
14. 交通安全活動（登下校の見守り、自転車のマナー向上、路上駐車対策など）
15. まちの基盤となる道路や公園などの整備に関する活動
16. 空き地・空き家対策に関する活動
17. 生活環境の改善・保全などを目的としたルールづくりに関する活動
18. その他 ( )
19. 特にない
20. わからない

問25 あなたは、貴団体の活動の現状について、どのようにお考えですか。（○印は1つ）

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 活発に活動しており満足している  | 3. 満足していない |
| 2. 課題もあるがまあまあ満足している | 4. わからない   |

問26 あなたは、貴団体が担う役割は今後どうなると思われますか。（○印は1つ）

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 1. ますます大きくなる | 3. 現在より小さくなる | 5. わからない |
| 2. あまり変わらない  | 4. 役割を終える    |          |

問27 貴団体の活動を活発にしていくために、必要なことをお聞かせください。（○印は3つまで）

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 地域課題についての情報・データを共有する | 7. 他の団体と連携・協力した活動を増やす |
| 2. 地域の課題を自由に話せる場・機会を増やす | 8. 他地域での活動事例を学ぶ       |
| 3. 地域活動についての広報活動を充実する   | 9. 地域活動の活動財源を増やす      |
| 4. 地域活動のリーダーを育てる        | 10. その他（ ）            |
| 5. 活動への参加をよびかける（誘う）     | 11. 特にない              |
| 6. 活動の分担を工夫する（上手く分かち合う） | 12. わからない             |

問28 自治会加入の促進や退会の防止、貴団体の活動の活発化や運営負担の軽減のために工夫されていること、コロナ禍において新たに取組まれたことをお聞かせください。

--

問29 自治会加入の促進にあたって、市に期待する取り組みをお聞かせください。（○印はいくつでも）

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 自治会加入促進活動のマニュアル・事例の提供 | 4. 市民に対する自治会活動の周知・広報 |
| 2. 転入者への区役所窓口での加入促進の声かけ  | 5. その他（ ）            |
| 3. 不動産会社を通じた自治会加入の働きかけ   | 6. 特にない              |

問30 貴団体が市に相談したいことや、支援を希望することをお聞かせください。（○印はいくつでも）

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 事業計画の作成               | 8. 自治会に加入していない人も活動に参加できる仕組み |
| 2. 活動事例の紹介               | 9. 自治会への加入促進                |
| 3. 活動先・連携先のマッチング         | 10. デジタル技術の活用               |
| 4. イベントなどの企画・運営・集客       | 11. 会計・税務                   |
| 5. 広報・情報発信（ホームページ、SNSなど） | 12. 人事・労務                   |
| 6. 資金確保（寄附・助成金等）         | 13. その他（ ）                  |
| 7. 組織運営・人材育成             | 14. 特に相談したいことはない            |

問31 令和3年の法改正により、不動産を有しない自治会においても、認可地縁団体の法人格が取得できるようになりました。法人格を取得すると、法人名義で財産（不動産、自動車など）や契約（携帯電話など）ができるようになります。あなたは、法人格の取得に関心がありますか？（○印は1つ）

- |          |          |                |
|----------|----------|----------------|
| 1. 関心がある | 2. 関心はない | 3. 法人格を既に有している |
|----------|----------|----------------|

問32 貴団体は、自治会支援に関わる神戸市の取り組みをご存知ですか。項目ごとに認知状況や利用状況をお聞かせください（項目ごとに○印は1つずつ）

	神戸市の取り組み	知っており、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
(記入例)	自治会活動ハンドブック	①	2	3
情報提供	①自治会活動ハンドブック（市ホームページに掲載）	1	2	3
相談	②神戸市コミュニティ相談センター	1	2	3
講座	③地域コミュニティ基礎講座	1	2	3
助成・補助	④神戸市地域集会所修繕等補助	1	2	3
マッチング	⑤KOBE 地域貢献応援プラットフォーム（プロジェクトへの協力者を募集する仕組み）	1	2	3
保険	⑥神戸市市民活動補償制度	1	2	3
データ	⑦地域の基礎データ（統計データと地図データ）	1	2	3

### 3. あなたご自身の活動状況について

問33 貴団体における代表の選出方法はどのような方法ですか。（○印は1つ）

1. 自薦・他薦 2. 持ち回り制 3. 選挙（投票） 4. くじ引き 5. その他（ ）

問34 貴団体では、代表の任期や定年の定めがありますか。（○印はいくつでも）

1. 任期の定めがある（例：連続2期まで） 2. 定年の定めがある 3. 特に定めはない

問35 あなたが、代表になってからの年数をお聞かせください。（令和4年10月1日時点）

約（ ）年（ ）か月

問36 あなたが、地域活動の担い手として参加したきっかけをお聞かせください。（○印はいくつでも）

1. 自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから 4. 知り合いに誘われたから  
2. 家族が地域活動に参加していたから 5. 役員・班長の順番が回ってきたため  
3. 以前住んでいた地域で地域活動に関わっていたから 6. その他（ ）

問37 あなたが、地域活動に参加してよかったと思うことをお聞かせください。（○印は3つまで）

1. 近隣の知り合いが増える 5. 行政に対して意見・提案を伝えやすい  
2. 地域の様々な情報が入手できる 6. 地域の人に喜んでもらえることがあった  
3. 困ったことや問題が起こった時に相談しやすい 7. その他（ ）  
4. 地域の活動について意見・提案ができる 8. 特にない

問38 あなたは、自治会をはじめ地域活動のために、月間何日ぐらい活動していますか。(数字を記入)

月間 ( ) 日ぐらい ※最大値を 31 日としてください

(丸々1日ではなくても、会合への出席など1日の間に少しでも活動があれば1日として数えてください。)

問39 あなたは、自治会長として、特にどのようなことに負担を感じていますか。(○印は **3つ** まで)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 活動に要する時間の負担        | 7. 転入者への加入の呼びかけ        |
| 2. 個人の金銭面の負担          | 8. 回覧板の運用              |
| 3. 責任が重い              | 9. 各種委員会への自治会員の推薦      |
| 4. 苦情・要望への対応の負担       | 10. 行政からの研修や行事への参加要請対応 |
| 5. 後継者や役員が確保しにくい      | 11. その他 ( )            |
| 6. 個人情報保護などの社会ルールへの対応 |                        |

#### 4. あなたご自身のことについて

問40 あなたご自身のことについてお聞かせください。(それぞれ○印は1つ)

①年代	1. 20代以下	3. 40代	5. 60代	7. 80代以上
	2. 30代	4. 50代	6. 70代	
②現在の地域(小学校区)での居住年数	1. 2年未満	3. 5年～10年未満	5. 20年～30年未満	
	2. 2年～5年未満	4. 10年～20年未満	6. 30年以上	
③就業状況	1. 常勤雇用(役員を含む)	4. 家事専業		
	2. 非常勤雇用(パートなど)	5. 無職		
	3. 自営業・自由業	6. その他 ( )		
④インターネット検索	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	
⑤SNSの利用※1	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	
⑥インターネット会議※2	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	

※1 SNS LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど

※2 インターネット会議 Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

ご協力ありがとうございました。

**11月11日(金)**までにお近くのポストに投函してください(切手不要)

■ **令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査**

**自治会 調査結果報告書**

(連絡先)

神戸市地域協働局地域活性課 (地域コミュニティ担当)

電話 : 078-322-5170 (内線 2262)      FAX : 078-322-6133

電子メール    [community@office.city.kobe.lg.jp](mailto:community@office.city.kobe.lg.jp)

(調査委託先) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社